

令和 4 年度  
福井県海岸漂着物等実態調査業務委託  
報告書

内外地図株式会社

2022 年 7 月

# 目次

1. 業務概要.....	1
1.1 目的.....	1
1.2 実施期間.....	1
1.3 調査の内容.....	1
2. 海岸漂着物実態調査.....	1
2.1 調査地点.....	1
2.2 調査方法.....	3
2.3 調査実施日.....	9
2.4 気象概況.....	9
2.5 調査結果.....	12
2.5.1 調査前後の写真.....	12
2.5.2 海岸漂着物調査結果.....	15
2.5.3 大分類別の組成.....	25
2.5.4 人工物別の組成.....	28
2.5.5 3分類別の組成.....	31
2.5.6 ペットボトルのキャップ及びペットボトルの国別組成.....	33
2.5.7 浮子（ブイ）の国別組成.....	36
2.6 水晶浜におけるごみの傾向.....	38
3. 過年度調査結果との比較.....	41
3.1 調査結果の比較（令和2年度・令和3年度・令和4年度）.....	41
3.1.1 大分類別調査結果の比較.....	42
3.1.2 人工物別調査結果の比較.....	44
3.1.3 3分類別調査結果の比較.....	45
3.1.4 ペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）国別調査結果の比較.....	47
3.1.5 プラ分類別調査結果の比較.....	49
3.2 ヒアリング調査.....	53
3.3 降水量・風速・風向の比較.....	55
3.4 まとめ.....	60

## 1. 業務概要

業務の概要について以下に示す。

### 1.1 目的

県内の1海岸において、長期的に継続して漂着ごみの組成や存在量の実態を把握することを目的とし、発生抑制策等を検討する際の基礎資料とする。

### 1.2 実施期間

令和4年4月28日～令和4年7月29日

### 1.3 調査の内容

福井県内の1海岸において、海岸漂着物の種類ごとの数、数量、表記を調査し、福井県の海岸漂着物の実態を把握する。

## 2. 海岸漂着物実態調査

調査は、令和4年度福井県海岸漂着物等実態調査業務仕様書に従い環境省の「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン（令和2年6月 第2版）」（以下、ガイドラインと記述する）に則して実施した。

### 2.1 調査地点

調査は、水晶浜海水浴場（三方郡美浜町）の1海岸で実施した（図2.1）。水晶浜海水浴場は、福井県海岸漂着物対策推進計画において特に優先して回収・処分に取り組むべき重点区域に指定されている。

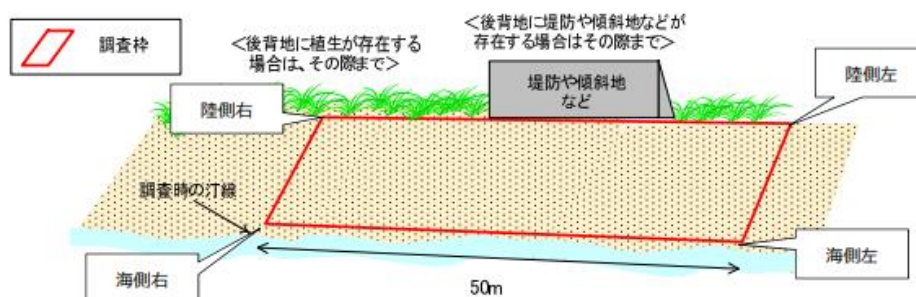
敦賀半島の西側に位置する、南北に長い砂浜海岸であり、海岸には隣接した駐車場がある。



図 2.1 調査対象海岸（水晶浜海水浴場（三方郡美浜町））

## 2.2 調査方法

調査範囲は、調査対象海岸内に、漂着物の代表的な状況が把握できるような調査範囲を下図のように設定し、下表の通り海岸線沿いに幅 50m、奥行きは砂浜部と階段状護岸際までの 29m とした。



(環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和2年6月 第2版)」より)

海岸名	海岸線長 (m)	砂浜部の奥行き (m)	調査範囲
水晶浜海水浴場 (三方郡美浜町)	50	29	令和3年度 調査実施区画と同一

調査対象としたごみは、ガイドラインに基づき環境省モニタリング調査と同様に長さ 2.5cm 以上のごみとした。

調査範囲内のごみを回収し、環境省「漂着ごみ組成調査データシート(令和3年10月第3版)」漂着ごみの分類表(表 2.2-1)に従って分類し、個数、重量及び容積を測定して漂着ごみデータシート(表 2.2-2)へ記録した。

言語表記等調査の分類については、環境省「漂着ごみ組成調査データシート(令和3年10月第3版)」の言語表記等調査のデータシート(表 2.2-3)に基づいて分類した。

分類の際、回収したごみが破損等により元の製品の一部のみであった場合、元の製品が推定できる場合は元の製品として分類し、推定出来ない場合は破片として分類した。

表 2.2-1 漂着ごみの分類表

大分類	必須項目	オプション項目	ブラ分類	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	容器包装	
	ボトル<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	容器包装
		その他のブラボトル<1L	その他のブラボトル<1L	容器包装
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	容器包装
		その他のブラボトル類≥1L	その他のブラボトル類≥1L	容器包装
	ストロー	ストロー	製品	
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	製品	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	コップ、食器		製品
		食品容器		容器包装
	ポリ袋(不透明&透明)	食品の容器包装		容器包装
		レジ袋		容器包装
		その他プラスチック袋		容器包装
	ライター	ライター	製品	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	製品	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	製品	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	その他	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	その他	
	ウレタン	ウレタン	その他	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	海域由来	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	海域由来	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	海域由来	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	海域由来	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	海域由来	
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー、浮き		海域由来
		かご漁具		海域由来
		釣り糸		海域由来
		その他の漁具		海域由来
	その他	たばこ吸殻(フィルター)		製品
		生活雑貨(歯ブラシ等)		製品
		花火		製品
玩具			製品	
プラスチック梱包材			容器包装	
6パックホルダー			容器包装	
苗木ポット			製品	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載			品目による	
その他			品目による	
(発泡スチロール)		コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	容器包装
			コップ、食器(発泡スチロール)	製品
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	海域由来	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	その他	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	容器包装	
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載		品目による
その他			品目による	

ゴム	ゴム	タイヤ	
		玩具、ボール	
		風船	
		靴(サンダル、靴底含む)	
		ゴムの破片	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	
		食品容器	
		ガラス、陶器の破片	
		食品以外容器	
		コップ、食器	
		電球	
		蛍光管	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
その他			
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	
		アルミの飲料缶	
		スチール製飲料用缶	
		金属製コップ、食器	
		フォーク、ナイフ、スプーン等	
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	
		金属片	
		ワイヤー、針金	
		金属製漁具	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	
		花火	
		紙袋	
		食品包装材	
		紙製容器(飲料用紙パック等)	
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
その他			
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器		
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載	
		その他	
人力で動かせない物			

表 2.2-2 漂着ごみデータシート

都道府県名: \_\_\_\_\_

実施者: \_\_\_\_\_

調査海岸: \_\_\_\_\_ 市町村 \_\_\_\_\_ 海岸 \_\_\_\_\_

調査実施日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

回収開始時刻: \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

回収終了時刻: \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

回収作業人数: \_\_\_\_\_ 人

調査海岸の奥行き(平均): \_\_\_\_\_ m

海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他( \_\_\_\_\_ )

調査地点 中心点: N \_\_\_\_\_ E \_\_\_\_\_

※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)

清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施

台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内

重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他( \_\_\_\_\_ ))

奥行き方向の回収範囲:  全範囲  一部範囲 ( \_\_\_\_\_ m)

河口付近:  島嶼地帯:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L	飲料用(ペットボトル) < 1L			
		その他のプラスチック < 1L	その他のプラスチック < 1L			
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L	飲料用(ペットボトル) ≥ 1L			
		その他のプラスチック類 ≥ 1L	その他のプラスチック類 ≥ 1L			
		ストロー	ストロー			
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器				
		食品容器				
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装				
		レジ袋				
		その他プラスチック袋				
	ライター	ライター				
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片				
	ウレタン	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)				
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
	漁網(漁具)	漁網(漁具)				
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き かご漁具 釣り糸 その他の漁具				
	その他	たばこ吸殻(フィルター) 生活雑貨(歯ブラシ等) 花火 玩具 プラスチック梱包材 6バックホルダー 苗木ポット 分類に無いもので多数見つかった場合には記載( その他				
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール) コップ、食器(発泡スチロール)				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片				
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材				
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( その他				

※ 少なくとも個数及び容積(L)または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。



大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ			
		玩具、ボール			
		風船			
		靴(サンダル、靴底含む)			
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他			
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材			
		食品容器			
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器			
		コップ、食器			
		電球			
		蛍光管			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他			
		金属	金属	ピンのふた、キャップ、プルタブ	
アルミの飲料缶					
スチール製飲料用缶					
金属製コップ、食器					
フォーク・ナイフ・スプーン等					
その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)					
金属片					
ワイヤー、針金					
金属製漁具					
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他					
紙、ダンボール	紙、ダンボール			紙製コップ、食器	
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)			
		花火			
		紙袋			
		食品包装材			
		紙製容器(飲料用紙パック等)			
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他			
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他			
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他			
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器			
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( ) その他			
その他	その他	その他1( )			
		その他2( )			
		その他3( )			
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )			

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

表 2.2-3 言語表記等調査のデータシート

調査実施日:		調査地:		言語表記等調査のデータシート					
ポイント:		地点:		ペットボトルのキャップ		漁業用の浮子 (プラ以外を含む。)			
項目	バーコード記載/表記言語 (最初の2ケタ or 3ケタ)	製造国	個数	項目	表記言語	個数	項目	表記言語	個数
ペットボトル	49 or 45	日本		ペット ボトル の キャ ップ	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)		漁 業 用 の 浮 子	日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)	
	69	中国			中国・台湾 (漢字)			中国・台湾 (漢字)	
	880	韓国			韓国 (ハングル)			韓国 (ハングル)	
	471	台湾			ロシア (ロシア語)			ロシア (ロシア語)	
	46	ロシア			不明 (文字読取れず)			不明 (文字読取れず)	
	不明 (バーコード読取れず)				(表記言語) 英語			(表記言語) _____	
バーコード読取可能 ( )			(表記言語) フランス		(表記言語) _____				
バーコード読取可能 ( )			(表記言語) 何語かわからず		(表記言語) _____				
バーコード読取可能 ( )			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
日本 (漢字, ひらがな, カタカナ)			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
中国・台湾 (漢字)			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
韓国 (ハングル)			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
ロシア (ロシア語)			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
不明 (文字読取れず)			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				
(表記言語) _____			(表記言語) _____		(表記言語) _____				

## 2.3 調査実施日

調査対象海岸の調査は、下記の通り実施した。

海岸名	実施日
水晶浜海水浴場（三方郡美浜町）	令和4年5月30日

## 2.4 気象概況

調査実施前3か月間（2022年3月～5月）の降水量を表2.4-1及び図2.4-1に、風速風向については表2.4-2及び図2.4-2に示した。

調査実施前3か月間を通して降水量が20mm以上の降雨が各月に1日程度見られたが、風速・風向では10m/sを超える日はなく、調査実施時期に豪雨や台風などの異常気象等は見られなかった。

表 2.4-1 2022年3月～5月における美浜観測所の日合計降水量

（参照：気象庁HP「過去の気象データ」<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

2022年3月	降水量(mm) (日合計)	2022年4月	降水量(mm) (日合計)	2022年5月	降水量(mm) (日合計)
2022/3/1	4.5	2022/4/1	0	2022/5/1	19
2022/3/2	1.5	2022/4/2	0	2022/5/2	0.5
2022/3/3	0	2022/4/3	0	2022/5/3	0.5
2022/3/4	0	2022/4/4	0	2022/5/4	0
2022/3/5	1	2022/4/5	0	2022/5/5	0
2022/3/6	1	2022/4/6	0	2022/5/6	0
2022/3/7	0	2022/4/7	1	2022/5/7	0
2022/3/8	0	2022/4/8	0	2022/5/8	0
2022/3/9	0	2022/4/9	0	2022/5/9	0
2022/3/10	0	2022/4/10	0	2022/5/10	0
2022/3/11	0	2022/4/11	0	2022/5/11	0
2022/3/12	0	2022/4/12	0	2022/5/12	0.5
2022/3/13	0	2022/4/13	0	2022/5/13	14.5
2022/3/14	11.5	2022/4/14	12	2022/5/14	30.5
2022/3/15	1	2022/4/15	12	2022/5/15	0
2022/3/16	0	2022/4/16	0.5	2022/5/16	0
2022/3/17	0	2022/4/17	0	2022/5/17	0
2022/3/18	34.5	2022/4/18	0	2022/5/18	0
2022/3/19	11.5	2022/4/19	0	2022/5/19	0
2022/3/20	0	2022/4/20	0	2022/5/20	0
2022/3/21	0	2022/4/21	2.5	2022/5/21	0.5
2022/3/22	8	2022/4/22	0	2022/5/22	2
2022/3/23	2.5	2022/4/23	0	2022/5/23	0
2022/3/24	1.5	2022/4/24	0	2022/5/24	0
2022/3/25	0	2022/4/25	0	2022/5/25	0
2022/3/26	11	2022/4/26	8.5	2022/5/26	7.5
2022/3/27	1	2022/4/27	14.5	2022/5/27	9
2022/3/28	0	2022/4/28	0	2022/5/28	0
2022/3/29	0	2022/4/29	28.5	2022/5/29	0
2022/3/30	0	2022/4/30	0	2022/5/30	0
2022/3/31	3			2022/5/31	5.5

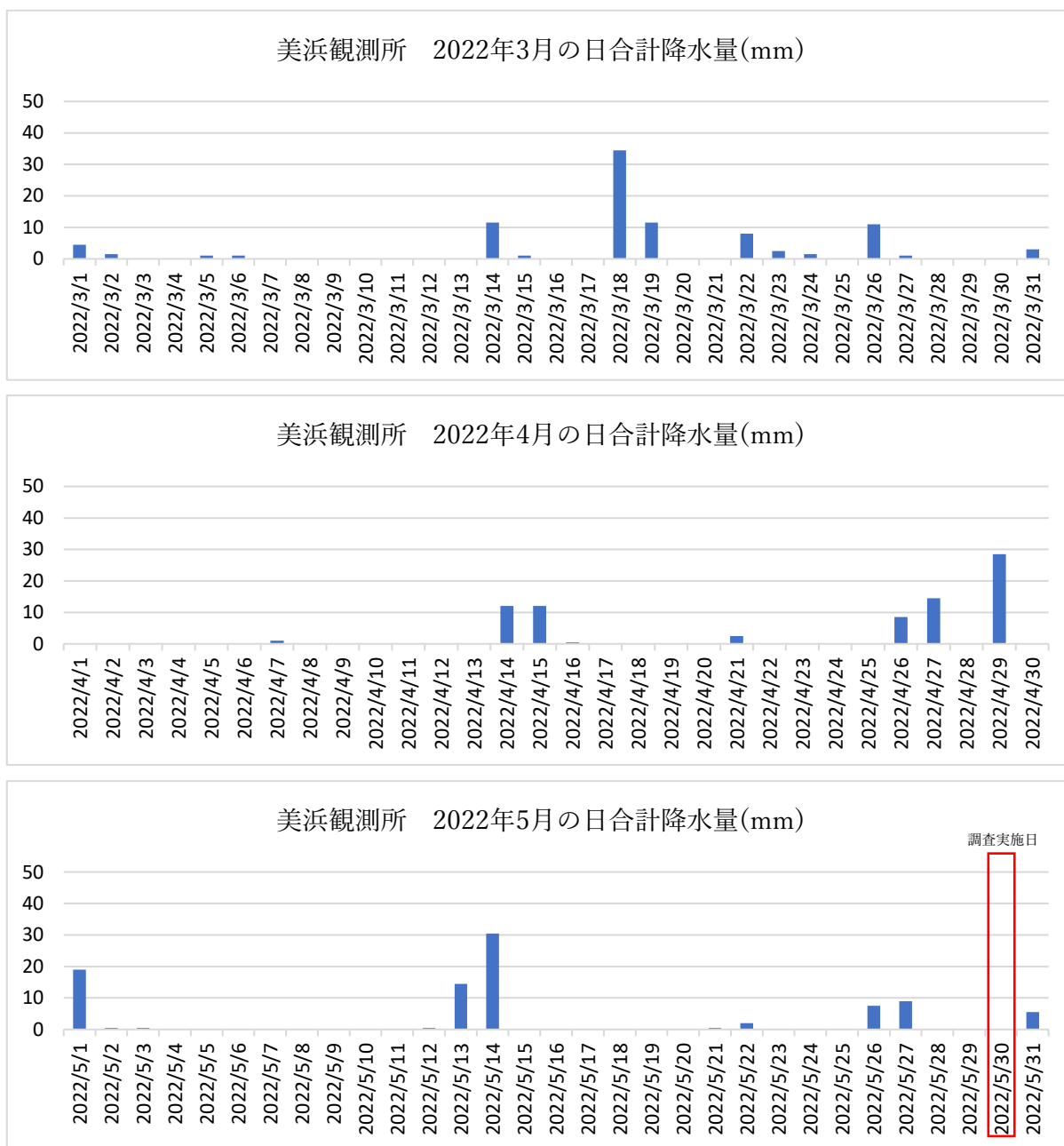


図 2.4-1 2022年3月～5月における美浜観測所の日合計降水量

(参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

表 2.4-2 2022年3月～5月における美浜観測所の日平均風速と日最多風向

(参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

2022年3月	平均風速(m/s)	最多風向(16方位)	2022年4月	平均風速(m/s)	最多風向(16方位)	2022年5月	平均風速(m/s)	最多風向(16方位)
2022/3/1	1.2	南南西	2022/4/1	5.4	北北東	2022/5/1	1.3	北北西
2022/3/2	1.4	南西	2022/4/2	1.8	北	2022/5/2	1.7	南南西
2022/3/3	2.5	北	2022/4/3	1.3	南西	2022/5/3	1.6	北北東
2022/3/4	1.2	南南西	2022/4/4	2.1	北北西	2022/5/4	1.1	南西
2022/3/5	3	北西	2022/4/5	2.1	北西	2022/5/5	1.5	北北東
2022/3/6	5.5	北西	2022/4/6	1.4	南南西	2022/5/6	2	南東
2022/3/7	3.3	北	2022/4/7	1.2	北東	2022/5/7	2.1	北北西
2022/3/8	1.6	南南西	2022/4/8	2.3	北	2022/5/8	3.3	北北西
2022/3/9	1.2	南南西	2022/4/9	1.6	南南西	2022/5/9	0.9	南西
2022/3/10	1.4	南南西	2022/4/10	1.2	南南西	2022/5/10	1.3	南南西
2022/3/11	1.3	南西	2022/4/11	2	南東	2022/5/11	1.4	東南東
2022/3/12	1.1	南南西	2022/4/12	1.2	西南西	2022/5/12	2.4	東南東
2022/3/13	1.4	南南西	2022/4/13	1.2	北西	2022/5/13	0.9	北東
2022/3/14	1	南南西	2022/4/14	1.3	南西	2022/5/14	2.1	北北西
2022/3/15	2.3	北西	2022/4/15	2.5	北北西	2022/5/15	1	北
2022/3/16	1.2	北北東	2022/4/16	4.2	北北西	2022/5/16	1.2	北北東
2022/3/17	1.7	北北西	2022/4/17	1.5	南南西	2022/5/17	0.8	南南西
2022/3/18	1.1	南西	2022/4/18	1.2	南南西	2022/5/18	1.4	南南西
2022/3/19	3.5	北北西	2022/4/19	1.7	北西	2022/5/19	1.4	南南西
2022/3/20	2.1	南南西	2022/4/20	1.3	北北東	2022/5/20	1.1	南南西
2022/3/21	1.5	南西	2022/4/21	1.6	南東	2022/5/21	1.3	南西
2022/3/22	1.6	北北西	2022/4/22	1.5	北	2022/5/22	1.2	北北東
2022/3/23	1.3	南南東	2022/4/23	0.8	北	2022/5/23	1.9	北西
2022/3/24	1.4	南南西	2022/4/24	1.1	南南西	2022/5/24	1.5	北北東
2022/3/25	2	南東	2022/4/25	1.3	北北東	2022/5/25	2.2	東南東
2022/3/26	6.7	南東	2022/4/26	2.3	南南西	2022/5/26	2.4	南東
2022/3/27	2.7	北西	2022/4/27	2	北北西	2022/5/27	1.6	南西
2022/3/28	3.5	北北西	2022/4/28	2	南西	2022/5/28	1.4	北北東
2022/3/29	0.9	南南西	2022/4/29	3.2	北	2022/5/29	1.6	南南西
2022/3/30	1	北北東	2022/4/30	3	北	2022/5/30	2.5	南
2022/3/31	2.9	北				2022/5/31	2.1	北西

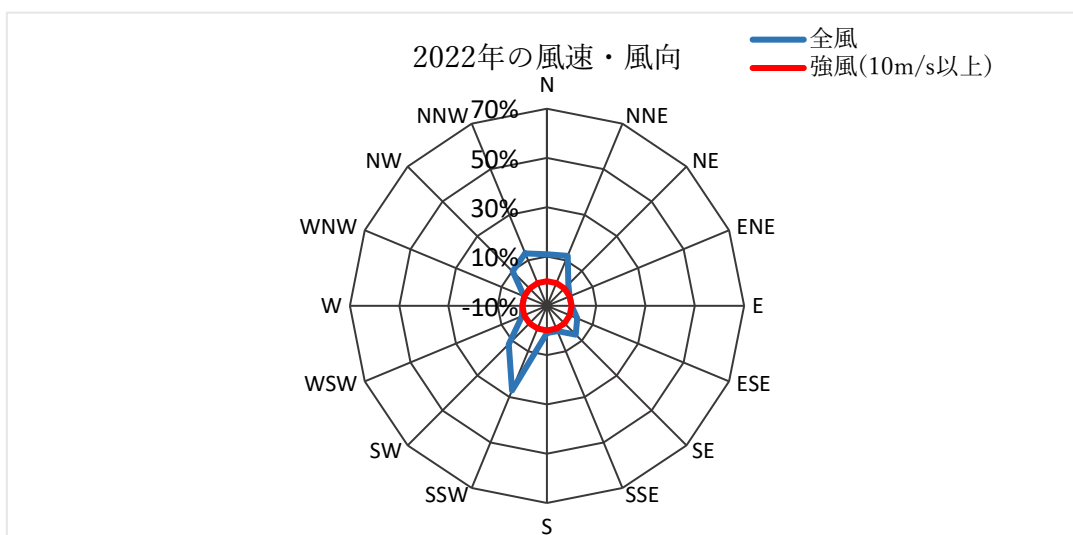


図 2.4-2 美浜観測所の日平均風速と日最多風向による風配図

(参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

## 2.5 調査結果

調査結果について以下に示す。

### 2.5.1 調査前後の写真

水晶浜海岸における海岸漂着物等の回収前後の写真を写真 2.5.1-1、写真 2.5.1-2、写真 2.5.1-3 に示した。なお、写真撮影地点番号は図 2.1 を参照した。







	回収前 (2022/5/30)	回収後 (2022/5/30)
①から海方向		
①から③の方向		
①から陸方向		

写真 2.5.1-1 海岸漂着物等の回収前後の写真







	回収前 (2022/5/30)	回収後 (2022/5/30)
③から海方向		
③から①の方向		
③から陸方向		

写真 2.5.1-2 海岸漂着物等の回収前後の写真

	回収前 (2022/5/30)	回収後 (2022/5/30)
②から海方向		
②から①方向		
②から③方向		
②から陸方向		

写真 2.5.1-3 海岸漂着物等の回収前後の写真



## 2.5.2 海岸漂着物調査結果

本調査により回収した海岸漂着物の例を写真 2.5.2 に示す。

また、回収した海岸漂着物の調査結果について、個数・容積・重量の結果をそれぞれ表に示した（表 2.5.2-1、表 2.5.2-2、表 2.5.2-3）。現地で計測した値のほかに、各調査項目の合計に占める割合や各調査項目が属している大分類の合計に占める割合、総計に占める割合なども併記した。

なお、以降の調査結果及び分析に用いている表・グラフについては端数処理の関係で合計値が一致しないことがある。

		
ロープ・ひも（漁具）	硬質プラスチック破片	飲料用（ペットボトル）
		
その他のプラボトル類 $\geq$ 1L	アナゴ筒 （フタ、筒）（漁具）	浮子（ブイ）（漁具）

写真 2.5.2 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の例

表 2.5.2-1 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果 (個数)

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各分類の合計個数に占める割合(%)	
				個数の総計に占める割合(%)	個数の総計に占める割合(%)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	1,100	20.2	19.1
		<b>小計</b>	<b>1,100</b>	<b>20.2</b>	<b>19.1</b>
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	124	2.3	2.1
		その他のプラボトル<1L	291	5.3	5.0
		飲料用(ペットボトル)≥1L	10	0.2	0.2
		その他のプラボトル類≥1L	39	0.7	0.7
		<b>小計</b>	<b>464</b>	<b>8.5</b>	<b>8.0</b>
	ストロー	ストロー	159	2.9	2.8
		<b>小計</b>	<b>159</b>	<b>2.9</b>	<b>2.8</b>
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	99	1.8	1.7
		<b>小計</b>	<b>99</b>	<b>1.8</b>	<b>1.7</b>
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	62	1.1	1.1
		食品容器	10	0.2	0.2
		<b>小計</b>	<b>72</b>	<b>1.3</b>	<b>1.2</b>
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	47	0.9	0.8
		レジ袋	3	0.1	0.1
		その他プラスチック袋	166	3.0	2.9
		<b>小計</b>	<b>216</b>	<b>4.0</b>	<b>3.7</b>
	ライター	ライター	62	1.1	1.1
		<b>小計</b>	<b>62</b>	<b>1.1</b>	<b>1.1</b>
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	3	0.1	0.1
		<b>小計</b>	<b>3</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	265	4.9	4.6
		<b>小計</b>	<b>265</b>	<b>4.9</b>	<b>4.6</b>
	シートや袋の破片	シートや袋の破片			
		<b>小計</b>			
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片			
		<b>小計</b>			
	ウレタン	ウレタン	39	0.7	0.7
		<b>小計</b>	<b>39</b>	<b>0.7</b>	<b>0.7</b>
	フイ(漁具)	浮子(フイ)(漁具)	108	2.0	1.9
		<b>小計</b>	<b>108</b>	<b>2.0</b>	<b>1.9</b>
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	2,040	37.5	35.3
	<b>小計</b>	<b>2,040</b>	<b>37.5</b>	<b>35.3</b>	
アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	208	3.8	3.6	
	<b>小計</b>	<b>208</b>	<b>3.8</b>	<b>3.6</b>	
カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	183	3.4	3.2	
	<b>小計</b>	<b>183</b>	<b>3.4</b>	<b>3.2</b>	
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	5	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>5</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
漁網(漁具)	漁網(漁具)	4	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>4</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>	
その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き	19	0.3	0.3	
	かご漁具	215	3.9	3.7	
	釣り糸	0	0.0	0.0	
	その他の漁具(たこ壺)	2	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>236</b>	<b>4.3</b>	<b>4.1</b>	
その他	たばこ吸殻(フィルター)	0	0.0	0.0	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	101	1.9	1.7	
	花火	0	0.0	0.0	
	玩具	23	0.4	0.4	
	プラスチック梱包材	0	0.0	0.0	
	6パックホルダー	0	0.0	0.0	
	苗木ポット	10	0.2	0.2	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(パイプ)	28	0.5	0.5	
	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(マスク)	10	0.2	0.2	
	その他(衣類)	10	0.2	0.2	
	<b>小計</b>	<b>182</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	
	<b>プラスチック 合計</b>	<b>5,445</b>	<b>100.0</b>	<b>94.3</b>	

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	各大分類の合計個数に占める割合(%)	
				個数の総計に占める割合(%)	
発泡スチロール	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	26	49.1	0.5
		コップ、食器(発泡スチロール)	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>26</b>	<b>49.1</b>	<b>0.5</b>
	発泡スチロール製フロート、パイ	発泡スチロール製フロート・浮子(パイ)	6	11.3	0.1
		<b>小計</b>	<b>6</b>	<b>11.3</b>	<b>0.1</b>
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片			
		<b>小計</b>			
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	21	39.6	0.4
		<b>小計</b>	<b>21</b>	<b>39.6</b>	<b>0.4</b>
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
その他		0	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>53</b>	<b>100.0</b>	<b>0.9</b>	
ゴム	ゴム	タイヤ	0	0.0	0.0
		玩具、ボール	0	0.0	0.0
		風船	0	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	29	24.2	0.5
		ゴムの破片			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(ゴム手袋)	44	36.7	0.8
		その他	47	39.2	0.8
		<b>小計</b>	<b>120</b>	<b>100.0</b>	<b>2.1</b>
	<b>ゴム 合計</b>	<b>120</b>	<b>100.0</b>	<b>2.1</b>	
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0	0.0	0.0
		食品容器	22	88.0	0.4
		ガラス、陶器の破片			
		食品以外容器	0	0.0	0.0
		コップ、食器	0	0.0	0.0
		電球	3	12.0	0.1
		蛍光管	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>25</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4</b>
	<b>ガラス、陶器 合計</b>	<b>25</b>	<b>100.0</b>	<b>0.4</b>	
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	10	90.9	0.2
		スチール製飲料用缶	1	9.1	0.0
		金属製コップ、食器	0	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0	0.0	0.0
		金属片	0	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0	0.0	0.0
		金属製漁具	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>11</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>
			<b>金属 合計</b>	<b>11</b>	<b>100.0</b>
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0	0.0	0.0
		花火	0	0.0	0.0
		紙袋	0	0.0	0.0
		食品包装材	0	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)			
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	<b>紙、ダンボール 合計</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	5	0.0	0.1
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他( )	0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>5</b>	<b>0.0</b>	<b>0.1</b>
	<b>天然繊維、革 合計</b>	<b>5</b>	<b>0.0</b>	<b>0.1</b>	

大分類	必須項目	オプション項目	個数(個)	個数の総計に占める割合(%)	
				各大分類の合計個数に占める割合(%)	個数の総計に占める割合(%)
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	108	99.1	1.9
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	1	0.9	0.0
		小計	109	100.0	1.9
		木(木材等) 合計	109	1.9	1.9
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )		0.0	0.0
		その他		0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
		電化製品、電子機器 合計	0	0.0	0.0
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)			
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	4	0.0	0.1
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.0	0.0
		その他	0	0.0	0.0
		小計	4	0.0	0.1
自然物 合計	4	0.0	0.1		
その他	その他	その他1( )	0	0.0	0.0
		その他2( )	0	0.0	0.0
		その他3( )	0	0.0	0.0
		小計	0	0.0	0.0
		その他 合計	0	0.0	0.0
総計			5,772		100.0

表 2.5.2-2 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（容積）

大分類	必須項目	オプション項目	容積(L)	容積の総計に占める割合(%)	
				各大分類の合計容積に占める割合(%)	容積の総計に占める割合(%)
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	31.5	0.6	0.4
		<b>小計</b>	<b>31.5</b>	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	105.0	2.1	1.4
		その他のプラボトル<1L	157.5	3.1	2.0
		飲料用(ペットボトル)≥1L	17.5	0.3	0.2
		その他のプラボトル類≥1L	180.0	3.5	2.3
		<b>小計</b>	<b>460.0</b>	<b>9.0</b>	<b>5.9</b>
	ストロー	ストロー	4.6	0.1	0.1
		<b>小計</b>	<b>4.6</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	4.6	0.1	0.1
		<b>小計</b>	<b>4.6</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	3.6	0.1	0.0
		食品容器	9.1	0.2	0.1
		<b>小計</b>	<b>12.7</b>	<b>0.2</b>	<b>0.2</b>
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	45.5	0.9	0.6
		レジ袋	0.9	0.0	0.0
		その他プラスチック袋	45.5	0.9	0.6
		<b>小計</b>	<b>91.9</b>	<b>1.8</b>	<b>1.2</b>
	ライター	ライター	2.7	0.1	0.0
		<b>小計</b>	<b>2.7</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	0.9	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.9</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	78.9	1.5	1.0
		<b>小計</b>	<b>78.9</b>	<b>1.5</b>	<b>1.0</b>
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	0.0	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	2,100.0	41.0	27.1
		<b>小計</b>	<b>2,100.0</b>	<b>41.0</b>	<b>27.1</b>
	ウレタン	ウレタン	1.3	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>1.3</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	540.0	10.5	7.0
		<b>小計</b>	<b>540.0</b>	<b>10.5</b>	<b>7.0</b>
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	1,190.0	23.2	15.4
		<b>小計</b>	<b>1,190.0</b>	<b>23.2</b>	<b>15.4</b>
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	90.0	1.8	1.2
		<b>小計</b>	<b>90.0</b>	<b>1.8</b>	<b>1.2</b>
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	1.1	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>1.1</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0.3	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.3</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	320.0	6.2	4.1
	<b>小計</b>	<b>320.0</b>	<b>6.2</b>	<b>4.1</b>	
その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き	0.5	0.0	0.0	
	かご漁具	45.0	0.9	0.6	
	釣り糸	0.0	0.0	0.0	
	その他の漁具(たこ壺)	17.5	0.3	0.2	
	<b>小計</b>	<b>63.0</b>	<b>1.2</b>	<b>0.8</b>	
その他	たばこ吸殻(フィルター)	0.0	0.0	0.0	
	生活雑貨(歯ブラシ等)	10.0	0.2	0.1	
	花火	0.0	0.0	0.0	
	玩具	4.6	0.1	0.1	
	プラスチック梱包材	0.0	0.0	0.0	
	6パックホルダー	0.0	0.0	0.0	
	苗木ポット	2.7	0.1	0.0	
	分類に無いもので多数見つけた場合には記載(パイプ)	100.0	2.0	1.3	
	分類に無いもので多数見つけた場合には記載(マスク)	2.7	0.1	0.0	
	その他(衣類)	8.2	0.2	0.1	
	<b>小計</b>	<b>128.2</b>	<b>2.5</b>	<b>1.7</b>	
<b>プラスチック 合計</b>			<b>5,121.6</b>	<b>100.0</b>	<b>66.2</b>

大分類	必須項目	オプション項目	容積(L)	容積の総計に占める割合(%)		
				各大分類の合計容積に占める割合(%)	容積の総計に占める割合(%)	
発泡スチロール	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.7	1.2	0.0	
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.0	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.7</b>	<b>1.2</b>	<b>0.0</b>	
	発泡スチロール製フロート、ブイ	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	35.0	62.2	0.5	
		<b>小計</b>	<b>35.0</b>	<b>62.2</b>	<b>0.5</b>	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	20.0	35.5	0.3	
		<b>小計</b>	<b>20.0</b>	<b>35.5</b>	<b>0.3</b>	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.7	1.2	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.7</b>	<b>1.2</b>	<b>0.0</b>	
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0	
その他		0.0	0.0	0.0		
	<b>小計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>56.3</b>	<b>100.0</b>	<b>0.7</b>		
ゴム	ゴム	タイヤ	0.0	0.0	0.0	
		玩具、ボール	0.0	0.0	0.0	
		風船	0.0	0.0	0.0	
		靴(サンダル、靴底含む)	5.2	32.3	0.1	
		ゴムの破片	0.0	0.0	0.0	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(ゴム手袋)	9.1	56.5	0.1	
		その他	1.8	11.3	0.0	
		<b>小計</b>	<b>16.1</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>	
			<b>ゴム 合計</b>	<b>16.1</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>
		ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.0	0.0
食品容器	17.5			90.9	0.2	
ガラス、陶器の破片	0.0			0.0	0.0	
食品以外容器	0.0			0.0	0.0	
コップ、食器	0.0			0.0	0.0	
電球	1.8			9.1	0.0	
蛍光管	0.0			0.0	0.0	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0			0.0	0.0	
その他	0.0			0.0	0.0	
<b>小計</b>	<b>19.3</b>			<b>100.0</b>	<b>0.2</b>	
	<b>ガラス、陶器 合計</b>	<b>19.3</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2</b>		
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0.0	0.0	0.0	
		アルミの飲料缶	1.1	85.0	0.0	
		スチール製飲料用缶	0.2	15.0	0.0	
		金属製コップ、食器	0.0	0.0	0.0	
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.0	0.0	0.0	
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.0	0.0	0.0	
		金属片	0.0	0.0	0.0	
		ワイヤー、針金	0.0	0.0	0.0	
		金属製漁具	0.0	0.0	0.0	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0	
		その他	0.0	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>1.2</b>	<b>100.0</b>	<b>0.0</b>	
			<b>金属 合計</b>	<b>1.2</b>	<b>100.0</b>	<b>0.0</b>
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.0	0.0	0.0	
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.0	0.0	0.0	
		花火	0.0	0.0	0.0	
		紙袋	0.0	0.0	0.0	
		食品包装材	0.0	0.0	0.0	
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.0	0.0	0.0	
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.0	0.0	0.0	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0	
		その他	0.0	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	<b>紙、ダンボール 合計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.9	0.0	0.0	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.0	0.0	0.0	
		その他( )	0.0	0.0	0.0	
		<b>小計</b>	<b>0.9</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	<b>天然繊維、革 合計</b>	<b>0.9</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		

大分類	必須項目	オプション項目	容積(L)	容積の総計に占める割合(%)	
				各大分類の合計容積に占める割合(%)	容積の総計に占める割合(%)
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	505.6	62.8	6.5
		分類に無いもので多数見つけた場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	299.3	37.2	3.9
		小計	804.9	100.0	10.4
		<b>木(木材等) 合計</b>	<b>804.9</b>	<b>100.0</b>	<b>10.4</b>
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つけた場合には記載( )		0.0	0.0
		その他		0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		<b>電化製品、電子機器 合計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	1,134.0	66.1	14.7
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	580.6	33.9	7.5
		分類に無いもので多数見つけた場合には記載( )	0.0	0.0	0.0
		その他	0.0	0.0	0.0
		小計	1,714.6	100.0	22.2
	<b>自然物 合計</b>	<b>1,714.6</b>	<b>100.0</b>	<b>22.2</b>	
その他	その他	その他1( )	0.0	0.0	0.0
		その他2( )	0.0	0.0	0.0
		その他3( )	0.0	0.0	0.0
		小計	0.0	0.0	0.0
		<b>その他 合計</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
<b>総計</b>			<b>7,734.9</b>		<b>100.0</b>

表 2.5.2-3 水晶浜海水浴場における海岸漂着物の調査結果（重量）

大分類	必須項目	オプション項目	重量 (kg)	重量の総計に占める割合 (%)		
				各大大分類の合計重量に占める割合 (%)	重量の総計に占める割合 (%)	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	4.52	0.7	0.4	
		<b>小計</b>	<b>4.52</b>	<b>0.7</b>	<b>0.4</b>	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	13.85	2.0	1.3	
		その他のプラボトル<1L	12.78	1.9	1.2	
		飲料用(ペットボトル)≥1L	4.10	0.6	0.4	
		その他のプラボトル類≥1L	11.30	1.6	1.0	
		<b>小計</b>	<b>42.03</b>	<b>6.1</b>	<b>3.8</b>	
	ストロー	ストロー	0.10	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.10</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	0.26	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.26</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	0.75	0.1	0.1	
		食品容器	0.23	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.99</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>		
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	0.65	0.1	0.1	
		レジ袋	0.03	0.0	0.0	
		その他プラスチック袋	2.63	0.4	0.2	
	<b>小計</b>	<b>3.30</b>	<b>0.5</b>	<b>0.3</b>		
	ライター	ライター	0.65	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>0.65</b>	<b>0.1</b>	<b>0.1</b>		
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	0.03	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.03</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	1.64	0.2	0.1	
	<b>小計</b>	<b>1.64</b>	<b>0.2</b>	<b>0.1</b>		
	シートや袋の破片	シートや袋の破片	0.00	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片	286.50	41.8	26.0	
	<b>小計</b>	<b>286.50</b>	<b>41.8</b>	<b>26.0</b>		
	ウレタン	ウレタン	0.13	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.13</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	ブイ(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	33.70	4.9	3.1	
	<b>小計</b>	<b>33.70</b>	<b>4.9</b>	<b>3.1</b>		
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	170.85	24.9	15.5	
	<b>小計</b>	<b>170.85</b>	<b>24.9</b>	<b>15.5</b>		
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	11.05	1.6	1.0	
	<b>小計</b>	<b>11.05</b>	<b>1.6</b>	<b>1.0</b>		
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	0.09	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.09</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	7.00	1.0	0.6	
	<b>小計</b>	<b>7.00</b>	<b>1.0</b>	<b>0.6</b>		
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	101.80	14.9	9.3	
	<b>小計</b>	<b>101.80</b>	<b>14.9</b>	<b>9.3</b>		
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き	0.18	0.0	0.0	
		かご漁具	3.15	0.5	0.3	
		釣り糸	0.00	0.0	0.0	
		その他の漁具(たこ壺)	0.60	0.1	0.1	
	<b>小計</b>	<b>3.93</b>	<b>0.6</b>	<b>0.4</b>		
	その他	たばこ吸殻(フィルター)	0.00	0.0	0.0	
		生活雑貨(歯ブラシ等)	1.30	0.2	0.1	
		花火	0.00	0.0	0.0	
		玩具	0.68	0.1	0.1	
		プラスチック梱包材	0.00	0.0	0.0	
		6パックホルダー	0.00	0.0	0.0	
		苗木ポット	0.05	0.0	0.0	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(パイプ)	12.95	1.9	1.2	
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(マスク)	0.05	0.0	0.0	
		その他(衣類)	1.82	0.3	0.2	
	<b>小計</b>	<b>16.85</b>	<b>2.5</b>	<b>1.5</b>		
	<b>プラスチック 合計</b>			<b>685.41</b>	<b>100.0</b>	<b>62.3</b>



大分類	必須項目	オプション項目	重量(kg)	大分類	
				の合計重量に占める割合(%)	重量の総計に占める割合(%)
発泡スチロール	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0.03	0.8	0.0
		コップ、食器(発泡スチロール)	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.03</b>	<b>0.8</b>	<b>0.0</b>
	発泡スチロール製フロート、パイ	発泡スチロール製フロート・浮子(パイ)	2.40	77.2	0.2
		<b>小計</b>	<b>2.40</b>	<b>77.2</b>	<b>0.2</b>
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片	0.63	20.3	0.1
		<b>小計</b>	<b>0.63</b>	<b>20.3</b>	<b>0.1</b>
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0.05	1.7	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.05</b>	<b>1.7</b>	<b>0.0</b>
	その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
その他		0.00	0.0	0.0	
	<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	
	<b>発泡スチロール 合計</b>	<b>3.11</b>	<b>100.0</b>	<b>0.3</b>	
ゴム	ゴム	タイヤ	0.00	0.0	0.0
		玩具、ボール	0.00	0.0	0.0
		風船	0.00	0.0	0.0
		靴(サンダル、靴底含む)	2.00	31.6	0.2
		ゴムの破片	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(ゴム手袋)	4.21	66.4	0.4
		その他	0.13	2.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>6.34</b>	<b>100.0</b>	<b>0.6</b>
		<b>ゴム 合計</b>	<b>6.34</b>	<b>100.0</b>	<b>0.6</b>
		ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	0.00
食品容器	5.43			94.8	0.5
ガラス、陶器の破片	0.00			0.0	0.0
食品以外容器	0.00			0.0	0.0
コップ、食器	0.00			0.0	0.0
電球	0.30			5.2	0.0
蛍光管	0.00			0.0	0.0
分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00			0.0	0.0
その他	0.00			0.0	0.0
<b>小計</b>	<b>5.73</b>			<b>100.0</b>	<b>0.5</b>
<b>ガラス、陶器 合計</b>	<b>5.73</b>	<b>100.0</b>	<b>0.5</b>		
金属	金属	ビンのふた、キャップ、ブルタブ	0.00	0.0	0.0
		アルミの飲料缶	0.20	83.3	0.0
		スチール製飲料用缶	0.04	16.7	0.0
		金属製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0.00	0.0	0.0
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	0.00	0.0	0.0
		金属片	0.00	0.0	0.0
		ワイヤー、針金	0.00	0.0	0.0
		金属製漁具	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.24</b>	<b>100.0</b>	<b>0.0</b>
		<b>金属 合計</b>	<b>0.24</b>	<b>100.0</b>	<b>0.0</b>
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0.00	0.0	0.0
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0.00	0.0	0.0
		花火	0.00	0.0	0.0
		紙袋	0.00	0.0	0.0
		食品包装材	0.00	0.0	0.0
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0.00	0.0	0.0
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
<b>紙、ダンボール 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0.16	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他( )	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.16</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
<b>天然繊維、革 合計</b>	<b>0.16</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		

大分類	必須項目	オプション項目	重量(kg)	各分類の合計重量に占める割合(%)	
				重量の総計に占める割合(%)	重量の総計に占める割合(%)
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	41.63	27.3	3.8
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	110.72	72.7	10.1
		<b>小計</b>	<b>152.35</b>	<b>100.0</b>	<b>13.8</b>
		<b>木(木材等) 合計</b>	<b>152.35</b>	<b>100.0</b>	<b>13.8</b>
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	0.00	0.0	0.0
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )		0.0	0.0
		その他		0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
		<b>電化製品、電子機器 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)	31.95	12.9	2.9
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	214.82	87.1	19.5
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0.00	0.0	0.0
		その他	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>246.77</b>	<b>100.0</b>	<b>22.4</b>
<b>自然物 合計</b>	<b>246.77</b>	<b>100.0</b>	<b>22.4</b>		
その他	その他	その他1( )	0.00	0.0	0.0
		その他2( )	0.00	0.0	0.0
		その他3( )	0.00	0.0	0.0
		<b>小計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
		<b>その他 合計</b>	<b>0.00</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
<b>総計</b>			<b>1,100.12</b>		<b>100.0</b>

### 2.5.3 大分類別の組成

大分類別の組成（個数・容積・重量）について集計した結果を表 2.5.3 に示した。また、個数による組成比を表した円グラフを図 2.5.3-1 に、容積による組成比を表した円グラフを図 2.5.3-2 に、重量による組成比を表した円グラフを図 2.5.3-3 に示した。

大分類別の個数についてみると、全個数のうちプラスチックの割合が最も大きく 94.3%を占めていた。

大分類別の容積についてみると、全容積のうちプラスチックの割合が最も大きく 66.2%を占め、次いで自然物が 22.2%と続いていた。

大分類別の重量についてみると、全重量のうちプラスチックの割合が最も大きく 62.3%を占め、次いで自然物が 22.4%と続いていた。

表 2.5.3 大分類別の集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	5,445	94.3	5,121.6	66.2	685.41	62.3
発泡スチロール	53	0.9	56.3	0.7	3.11	0.3
ゴム	120	2.1	16.1	0.2	6.34	0.6
ガラス、陶器	25	0.4	19.3	0.2	5.73	0.5
金属	11	0.2	1.2	0.0	0.24	0.0
紙、段ボール	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
天然繊維、革	5	0.1	0.9	0.0	0.16	0.0
木（木材等）	109	1.9	804.9	10.4	152.35	13.8
電化製品、電子機器	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
自然物	4	0.1	1,714.6	22.2	246.77	22.4
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
総計	5,772	100.0	7,734.9	100.0	1,100.12	100.0

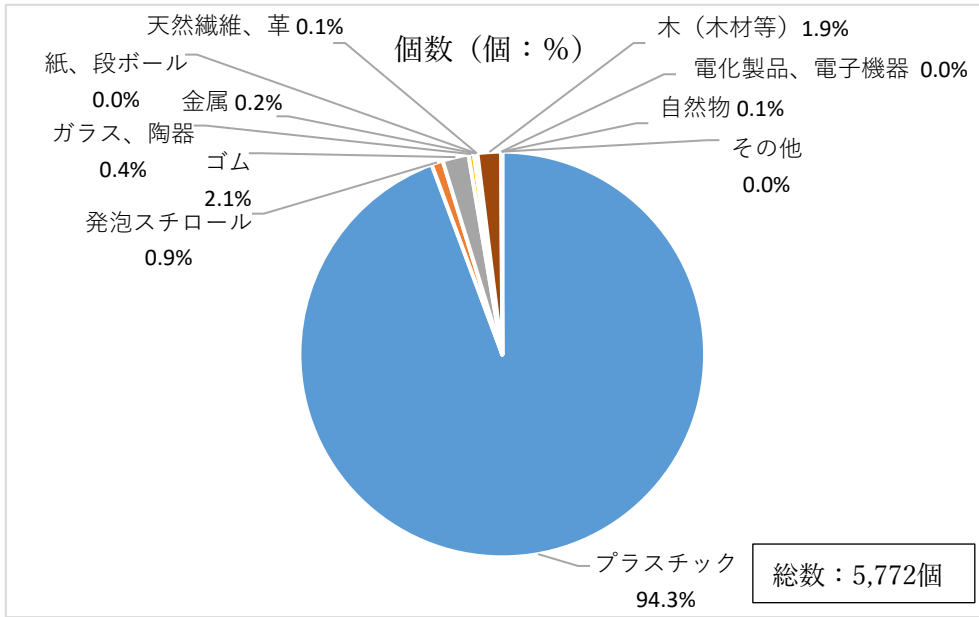


図 2.5.3-1 大分類別の組成比 (個 : %)

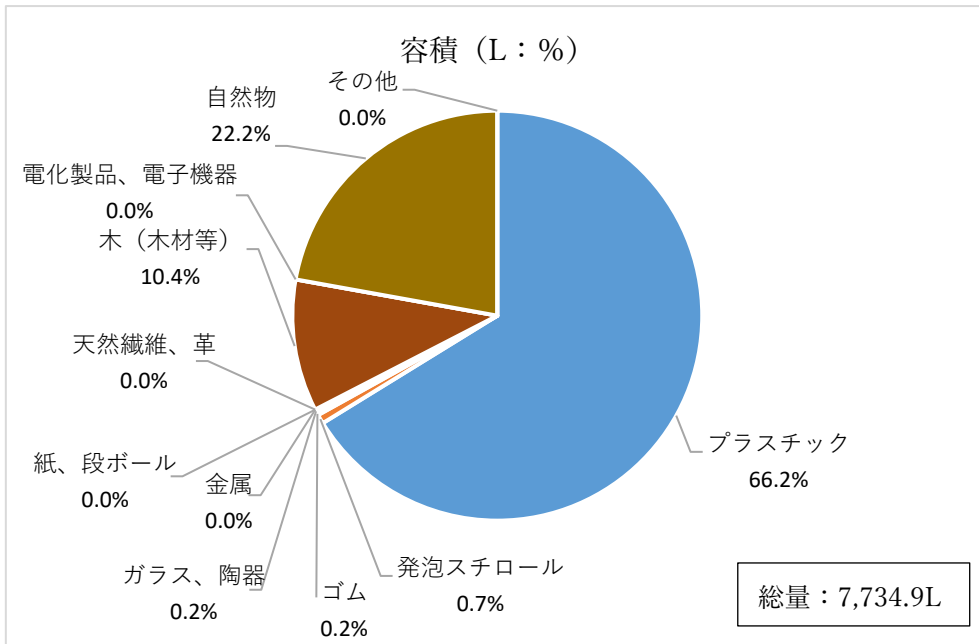


図 2.5.3-2 大分類別の組成比 (L : %)

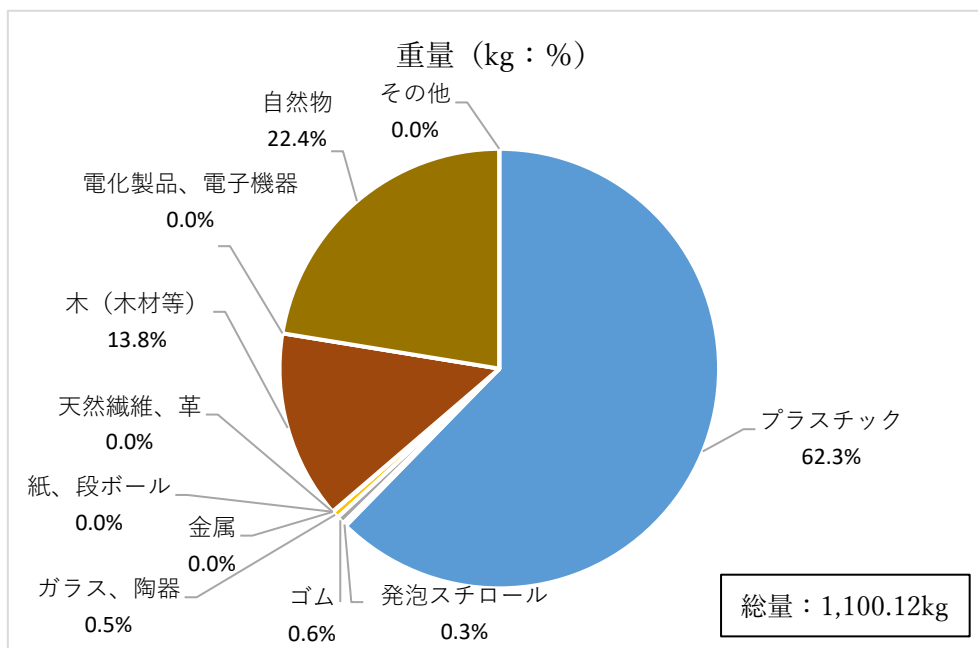


図 2.5.3-3 大分類別の組成比 (kg : %)

#### 2.5.4 人工物別の組成

人工物別の組成（個数・容積・重量）について集計した結果を表 2.5.4 に示した。個数による組成比を表した円グラフを図 2.5.4-1 に、容積による組成比を表した円グラフを図 2.5.4-2 に、重量による組成比を表した円グラフを図 2.5.4-3 に示した。

人工物別の個数についてみると、全個数のうちプラスチックの割合が最も大きく 94.4%を占めていた。

人工物別の容積についてみると、全容積のうちプラスチックの割合が最も大きく 85.1%を占め、次いで木（木材等）が 13.4%と続いていた。

人工物別の重量についてみると、全重量のうちプラスチックの割合が最も大きく 80.3%を占め、次いで木（木材等）が 17.9%と続いていた。

表 2.5.4 人工物集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
プラスチック	5,445	94.4	5,121.6	85.1	685.41	80.3
発泡スチロール	53	0.9	56.3	0.9	3.11	0.4
ゴム	120	2.1	16.1	0.3	6.34	0.7
ガラス、陶器	25	0.4	19.3	0.3	5.73	0.7
金属	11	0.2	1.2	0.0	0.24	0.0
紙、段ボール	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
天然繊維、革	5	0.1	0.9	0.0	0.16	0.0
木（木材等）	109	1.9	804.9	13.4	152.35	17.9
電化製品、電子機器	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
総計	5,768	100.0	6,020.3	100.0	853.34	100.0

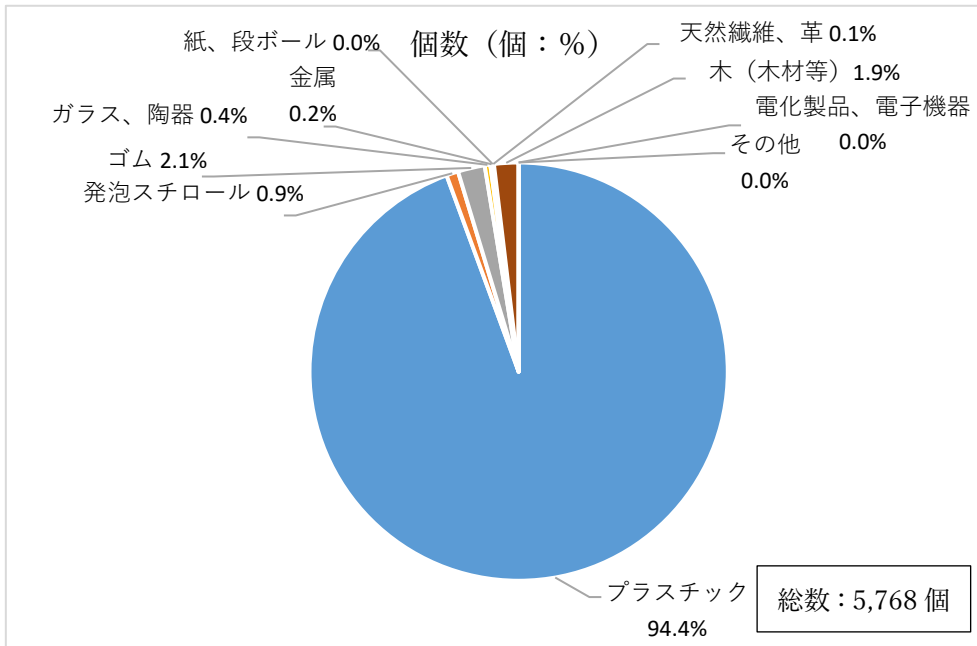


図 2.5.4-1 人工物の組成比 (個 : %)

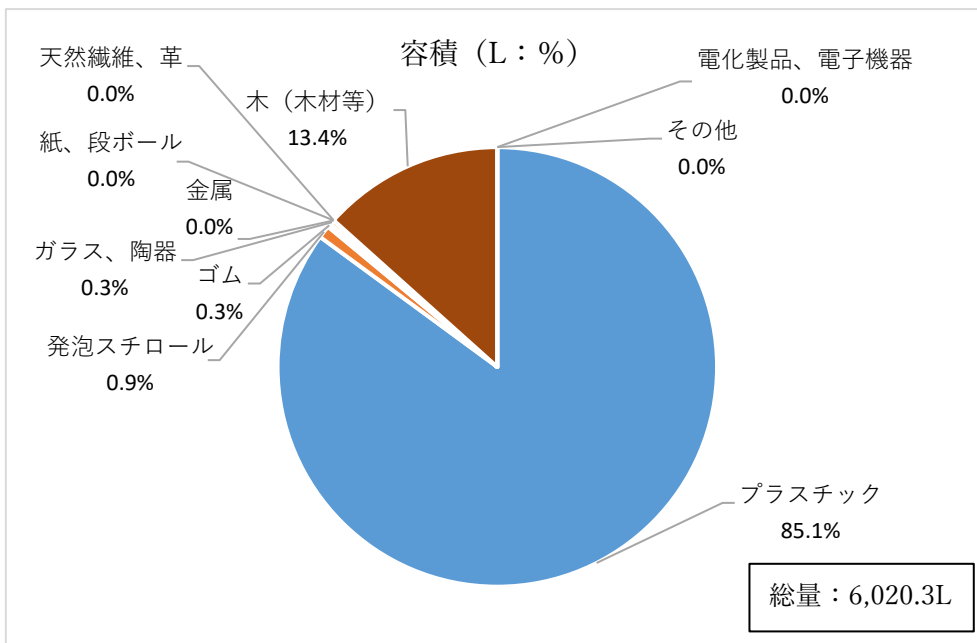


図 2.5.4-2 人工物の組成比 (L : %)

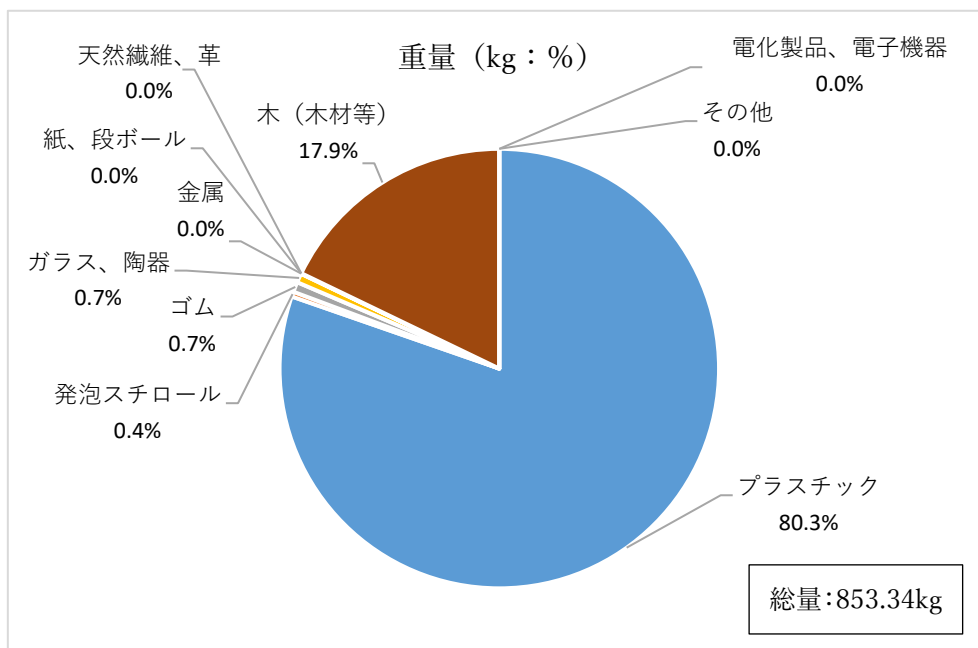


図 2.5.4-3 人工物の組成比 (kg : %)



### 2.5.5 3分類別の組成

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の組成（個数・容積・重量）について集計した結果を表 2.5.5 に示した。個数の組成比を表した円グラフを図 2.5.5-1 に、容積の組成比を表した円グラフを図 2.5.5-2 に、重量の組成比を表した円グラフを図 2.5.5-3 に示した。なお海域由来とは、ごみの発生場所が陸域ではなく主に海域と想定されるもので、漂着ごみ組成調査データシート（令和 3 年 10 月 第 3 版）の分類表（表 2.2-1）に記載のプラ分類の項目をもとに集計した。

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の個数についてみると、全個数のうち海域由来を除いた人工物の個数が 51.6% を占め、海域由来は 48.4% であった。

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の容積についてみると、海域由来を除いた人工物が 48.9% を占め、次いで海域由来が 29.0% で自然物が 22.2% であった。

3分類別（人工物、海域由来、自然物）の重量についてみると、全重量のうち海域由来を除いた人工物の重量が 47.5% を占め、次いで海域由来が 30.1%、自然物が 22.4% であった。

表 2.5.5 3分類別集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
人工物	2,978	51.6	3,781.0	48.9	522.52	47.5
海域由来	2,790	48.4	2,239.3	29.0	330.82	30.1
自然物			1,714.6	22.2	246.77	22.4
合計	5,768	100.0	7,734.9	100.0	1,100.12	100.0

※自然物に含まれる灌木は、カウントしないため個数不明

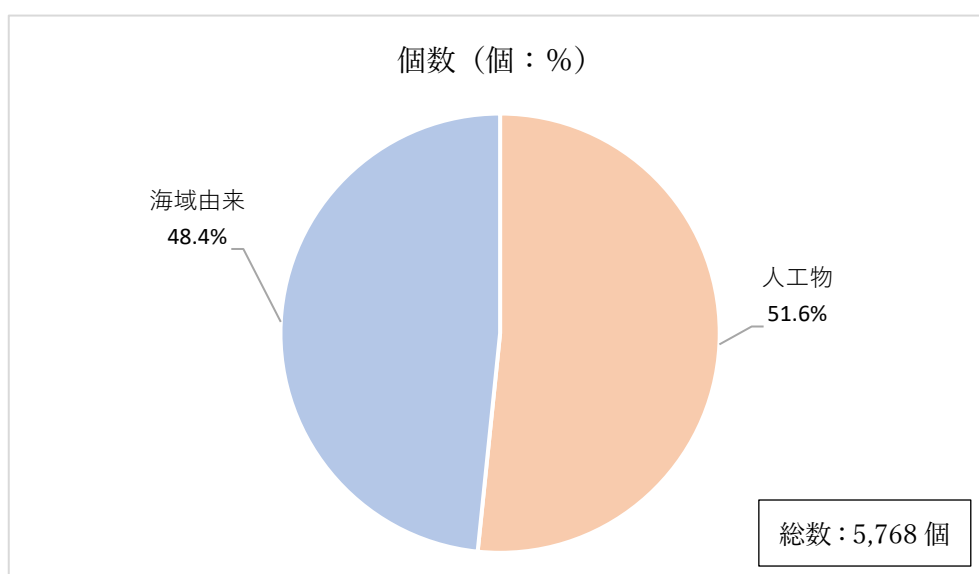


図 2.5.5-1 3分類別の組成比（個：％）

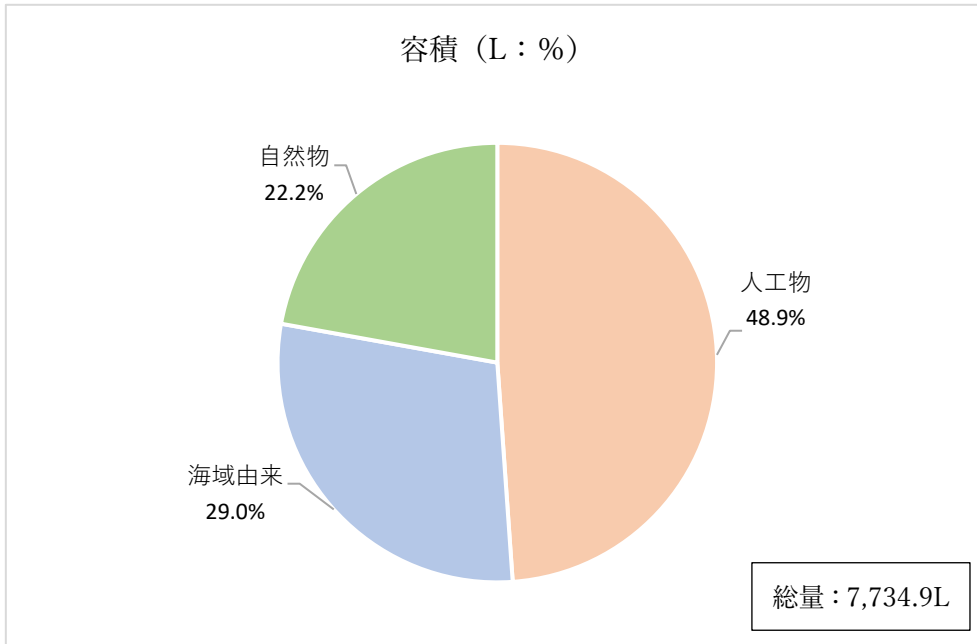


図 2.5.5-2 3 分類別の組成比 (L : %)

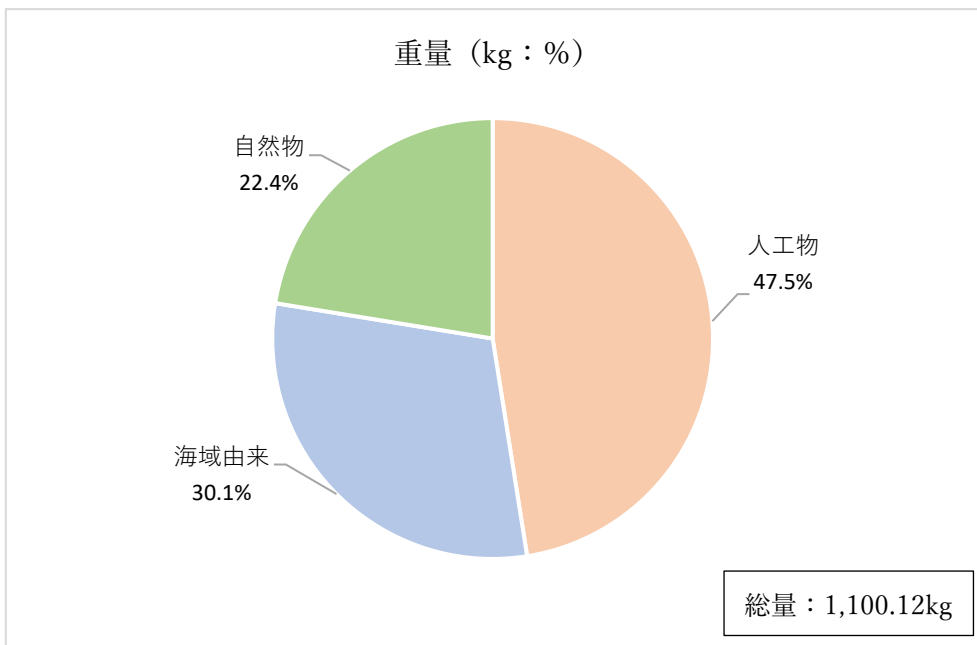


図 2.5.5-3 3 分類別の組成比 (kg : %)

## 2.5.6 ペットボトルのキャップ及びペットボトルの国別組成

言語表記等の調査により、国別に分類が可能であったペットボトルのキャップとペットボトル本体について環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和3年10月第3版）」の言語表記等調査のデータシート（図2.2-3）に基づき分類を行い、国ごとの組成を表2.5.6-1、組成比を表した円グラフを図2.5.6-1、図2.5.6-2に、国別に分類した状態の写真を写真2.5.6-1、写真2.5.6-2に示した。

なお、ここで扱うペットボトルのキャップとは、環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和3年10月第3版）」の漂着ごみデータシート②（図2.2-2）の分類項目「ボトルのキャップ・ふた」に分類されたものからペットボトルのキャップのみを選別したものである。

ペットボトルのキャップの個数の国別組成比を見ると、最も多いものが不明（328個、72.9%）であり、その次に中国・台湾（51個、11.3%）、韓国（38個、8.4%）、日本（33個、7.3%）と続く結果となった。

またペットボトル本体の個数の国別組成比では不明（73個、54.5%）が最も多く、次に日本（31個、23.1%）、韓国（16個、11.9%）、中国・台湾（14個、10.4%）と続いた。

表 2.5.6-1 ペットボトルのキャップ・ボトル本体の国別組成比

	ペットボトルのキャップ		ペットボトル	
	個数	%	個数	%
日本	33	7.3	31	23.1
中国・台湾	51	11.3	14	10.4
英語	0	0.0	0	0.0
韓国	38	8.4	16	11.9
不明	328	72.9	73	54.5
合計	450	100.0	134	100.0

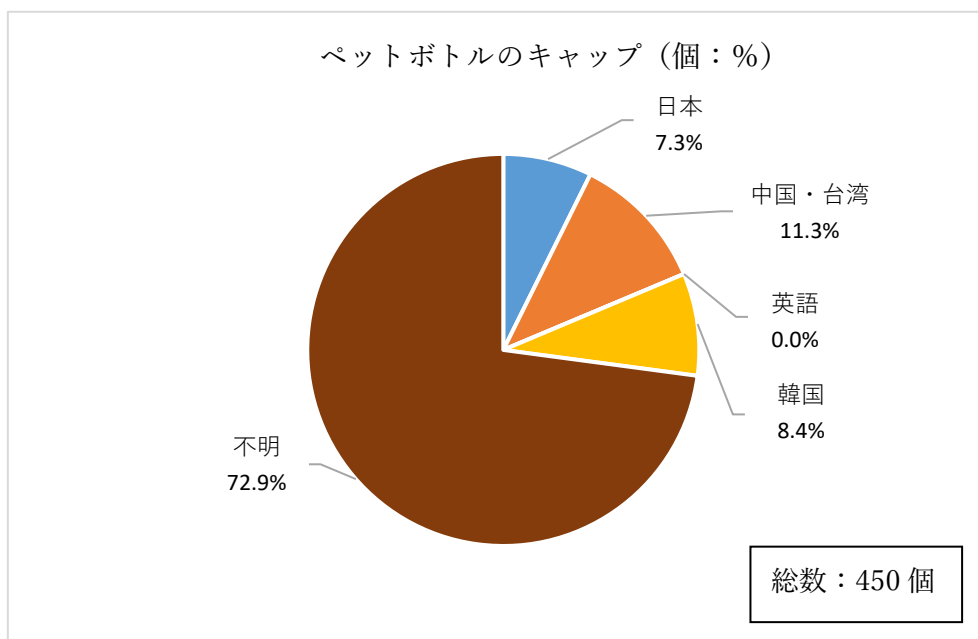


図 2.5.6-1 ペットボトルのキャップの国別組成比 (個：%)

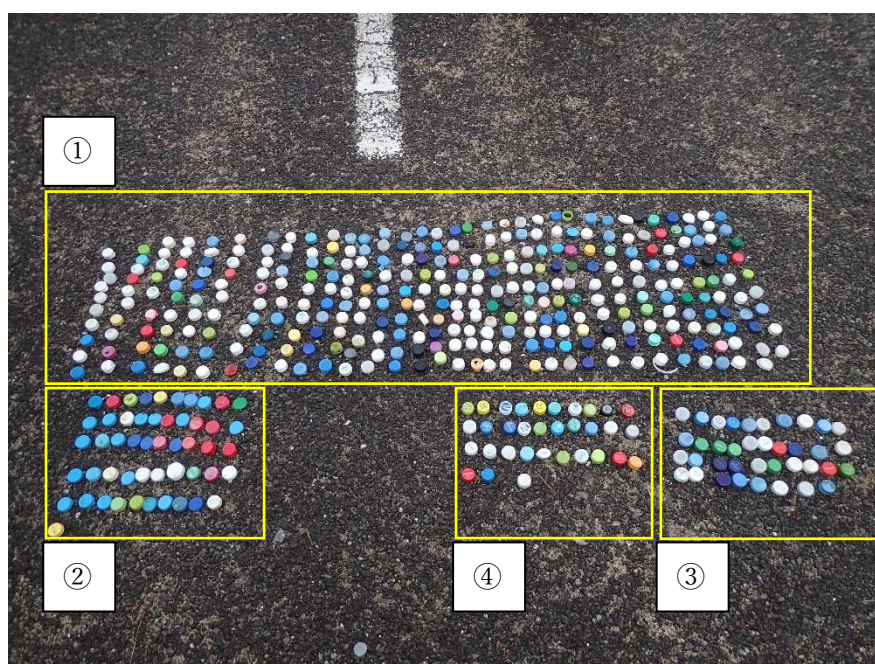


写真 2.5.6-1 ペットボトルのキャップの国別分類

①不明 ②中国・台湾 ③韓国 ④日本

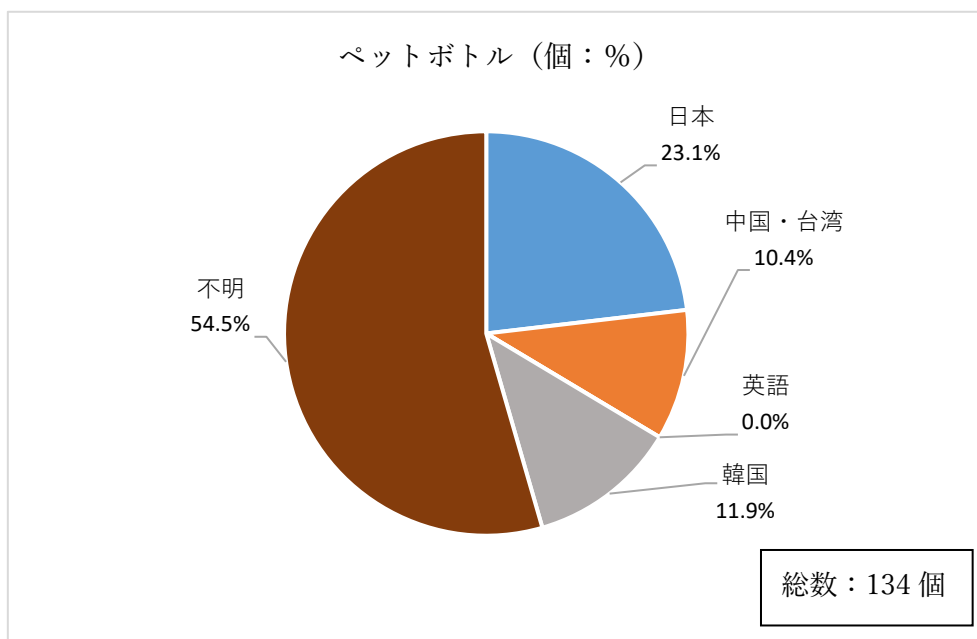


図 2.5.6-3 ペットボトルの国別組成比 (個：%)

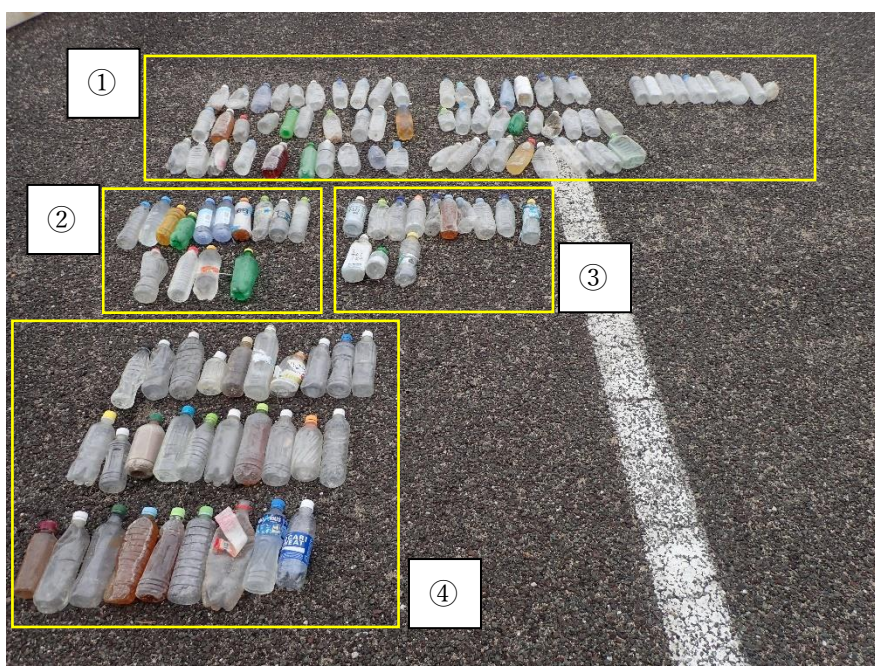


写真 2.5.6-2 ペットボトルの国別の分類

①不明 ②中国・台湾 ③韓国 ④日本

### 2.5.7 浮子（ブイ）の国別組成

硬質プラスチック及び発泡スチロール製の浮子（ブイ）の国別組成について、素材別の組成を表 2.5.7-1 に、国別の組成を表 2.5.7-2 に、国別の組成比を表した円グラフを図 2.5.7-1 に示した。また、国別に分類した状態の写真を写真 2.5.7-1 に示した。

言語表記等にて分類が可能であった浮子は、全て硬質プラスチック製の浮子であり、発泡スチロール製の浮子では確認できなかった。

浮子（ブイ）の個数について国別組成比を見ると、不明（97 個、85.1%）が最も多く、次に中国・台湾（9 個、7.9%）、韓国（6 個、5.3%）、英語（2 個、1.8%）が続き、日本語表記のものは確認されなかった。

表 2.5.7-1 浮子（ブイ）集計結果

	個数		容積		重量	
	個	%	L	%	kg	%
硬質プラスチック製浮子（ブイ）	108	94.7	540.0	93.9	33.70	93.4
発泡スチロール製浮子（ブイ）	6	5.3	35.0	6.1	2.40	6.6
合計	114	100.0	575.0	100.0	36.10	100.0

表 2.5.7-2 浮子（ブイ）の国別組成比（個数）

	個	%
日本	0	0.0
中国・台湾	9	7.9
英語	2	1.8
韓国	6	5.3
不明	97	85.1
合計	114	100.0

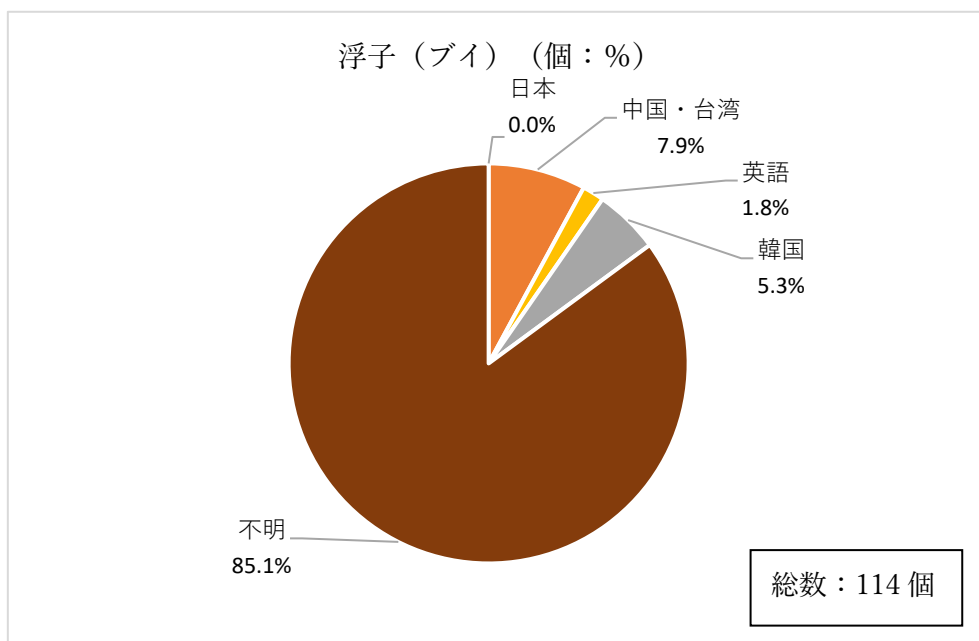


図 2.5.7-1 浮子（ブイ）の国別組成比（個：％）

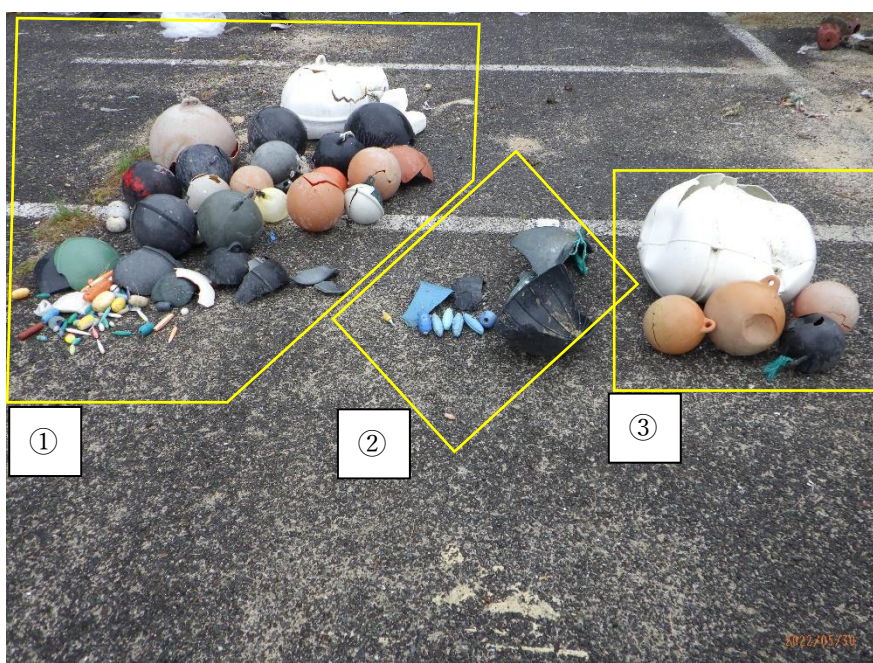


写真 2.5.7-1 浮子（ブイ）の国別の分類

①不明 ②中国・台湾 ③韓国

## 2.6 水晶浜におけるごみの傾向

水晶浜海水浴場においては、プラスチック類の占める割合が個数では94.3%、容積では66.2%、重量では62.3%と全体として高い割合を占める結果であった（図2.5.3-1、図2.5.3-2、図2.5.3-3）。

この結果からプラスチック類のごみの内訳について、表2.5.2-1と表2.5.2-3をもとに個数、重量について、それぞれ数値の高い項目順に並び替え、プラ分類別に色分けを行い図2.6-1、図2.6-2に示した。

なおプラ分類とはプラスチックの用途別に分類したもので、漂着ごみ組成調査データシート（令和3年10月第3版）の分類表（表2.2-1）に記載のプラ分類の項目をもとにした。

プラスチック類のうち最も個数が多いものは「ロープ・ひも（漁具）」（2,040個）であった。次に「ボトルのキャップ、ふた」（1,100個）と続く結果となり、他項目と比べてこれらは大幅に個数が多いことが確認された。また「ボトルのキャップ、ふた」は1,000個以上見られたがボトル本体は464個に止まり、うち「飲料用（ペットボトル）」が134個、「その他のボトル」が330個であった。

続いて最も重量が重いものは「硬質プラスチック破片」（286.50kg）で、次に重いものは「ロープ、ひも（漁具）」（170.85kg）であった。

プラスチック類のごみの全重量は685.41kgであり、「硬質プラスチック破片」が全重量の約4割を占めていた。また「ロープ、ひも（漁具）」は個数・重量ともに上位にあることから数が多いうえに重さのあるものだということがわかる。加えて「漁網（漁具）」に関しては、個数では4個と少ないものの、重量が101.80kgと3番目に示されているのは、1枚の大きな漁網が確認されたためである。

本調査では、「硬質プラスチック破片」と「ロープ、ひも（漁具）」が多く見られ、プラ分類の組成比から見ても個数では海域由来のものと容器包装品が、重量では海域由来のものとその他のものが多い傾向が見られた。



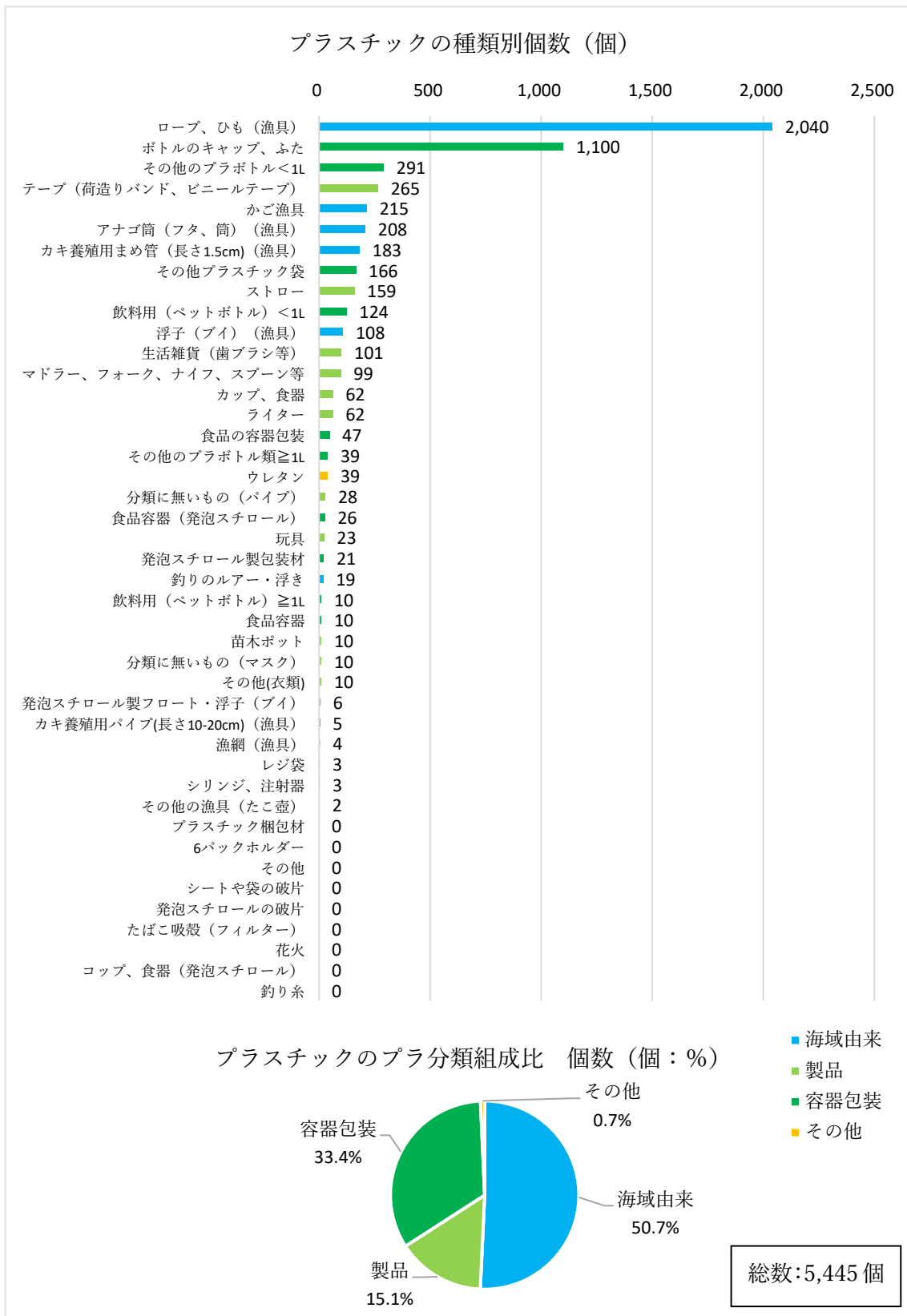
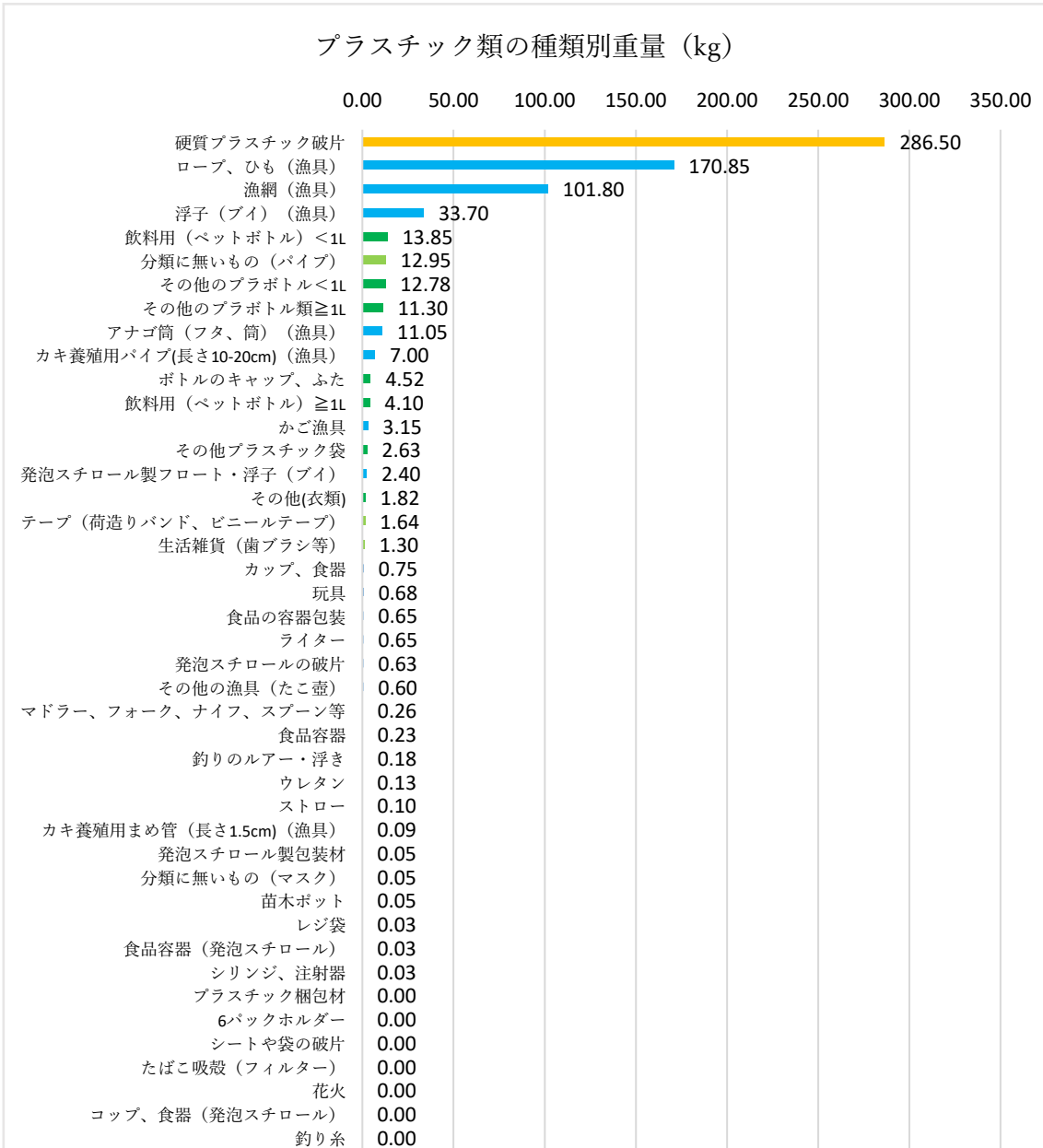


図 2.6-1 上段：プラスチックの種類別個数 (個)  
 下段：プラスチックのプラ分類組成比 個数 (個：%)



プラスチックのプラ分類組成比 重量 (kg : %)

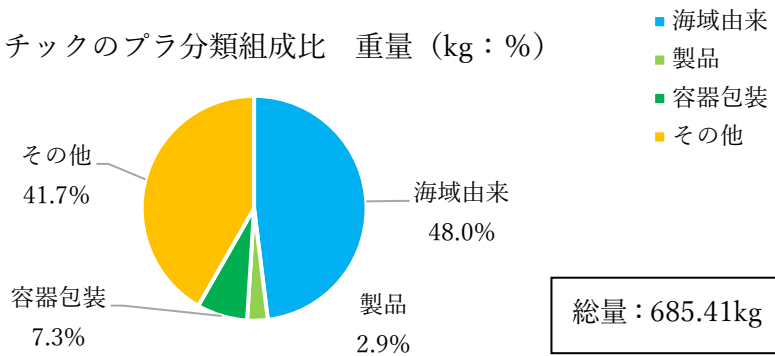


図 2.6-2 上段 : プラスチック類の種類別重量 (kg)

下段 : プラスチックのプラ分類組成比 重量 (kg : %)

### 3. 過年度調査結果との比較

令和2年度、令和3年度、令和4年度の水晶浜海水浴場における海岸漂着物等調査結果をもとに比較検討を行った。

#### 3.1 調査結果の比較（令和2年度・令和3年度・令和4年度）

比較のため同様の場所にて撮影した令和2年度、令和3年度、令和4年度の水晶浜海水浴場における海岸漂着物等調査実施前の様子を写真3.1-1に示した。写真3.1-1から令和4年度のごみの量は、令和2年度と比較すると同量程度、令和3年度と比較すると少ないことがわかる。

	③から海側	①から海側
令和2年度		
令和3年度	 ※福井県撮影資料	 ※福井県撮影資料
令和4年度	 ※福井県撮影資料	 ※福井県撮影資料

写真 3.1-1 海岸漂着物等の回収前の写真

### 3.1.1 大分類別調査結果の比較

令和2年度、令和3年度、令和4年度の調査結果を大分類別に個数、重量、容積について比較した結果を表3.1.1-1、表3.1.1-2、表3.1.1-3に示した。令和2年度、令和3年度の調査結果は、各年度の報告書を参照した。なお、令和2年度の重量については報告書にて記載の通り小数点第一位までの記載とした。

また、各年度の調査結果について個数、重量、容積別に集計した図を図3.1.1に示す。各年度により調査結果によりばらつきがあり、令和4年度の調査結果は、個数、重量、容積の全てについて令和2年度より多く、令和3年度より少ない結果であった。

表 3.1.1-1 大分類別集計結果（個数）

	R2		R3		R4	
	個	%	個	%	個	%
プラスチック	1703	89.8	9,572	96.1	5,445	94.3
発泡スチロール	24	1.3	28	0.3	53	0.9
ゴム	37	2.0	92	0.9	120	2.1
ガラス、陶器	36	1.9	80	0.8	25	0.4
金属	20	1.1	38	0.4	11	0.2
紙、段ボール	4	0.2	22	0.2	0	0.0
天然繊維、革	0	0.0	50	0.5	5	0.1
木（木材等）	32	1.7	70	0.7	109	1.9
電化製品、電子機器	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自然物	40	2.1	5	0.1	4	0.1
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総計	1,896	100.0	9,957	100.0	5,772	100.0

表 3.1.1-2 大分類別集計結果（容積）

	R2		R3		R4	
	L	%	L	%	L	%
プラスチック	2528.1	82.5	8,760.3	76.9	5,121.6	66.2
発泡スチロール	80.0	2.6	55.2	0.5	56.3	0.7
ゴム	30.4	1.0	169.0	1.5	16.1	0.2
ガラス、陶器	45.1	1.5	60.0	0.5	19.3	0.2
金属	5.8	0.2	9.0	0.1	1.2	0.0
紙、段ボール	0.2	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	10.0	0.1	0.9	0.0
木（木材等）	139.2	4.5	90.0	0.8	804.9	10.4
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自然物	234.6	7.7	2,238.9	19.6	1,714.6	22.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総計	3,063.4	100.0	11,397.0	100.0	7,734.9	100.0

表 3.1.1-3 大分類別集計結果（重量）

	R2		R3		R4	
	kg	%	kg	%	kg	%
プラスチック	230.6	75.2	965.20	69.9	685.41	62.3
発泡スチロール	1.3	0.4	0.60	0.0	3.11	0.3
ゴム	6.9	2.2	18.60	1.3	6.34	0.6
ガラス、陶器	4.9	1.6	18.70	1.4	5.73	0.5
金属	1.6	0.5	4.10	0.3	0.24	0.0
紙、段ボール	0.0	0.0	1.70	0.1	0.00	0.0
天然繊維、革	0.0	0.0	3.70	0.3	0.16	0.0
木（木材等）	27.0	8.8	28.90	2.1	152.35	13.8
電化製品、電子機器	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0
自然物	34.4	11.2	339.60	24.6	246.77	22.4
その他	0.0	0.0	0.03	0.0	0.00	0.0
総計	306.7	100.0	1,381.13	100.0	1,100.12	100.0

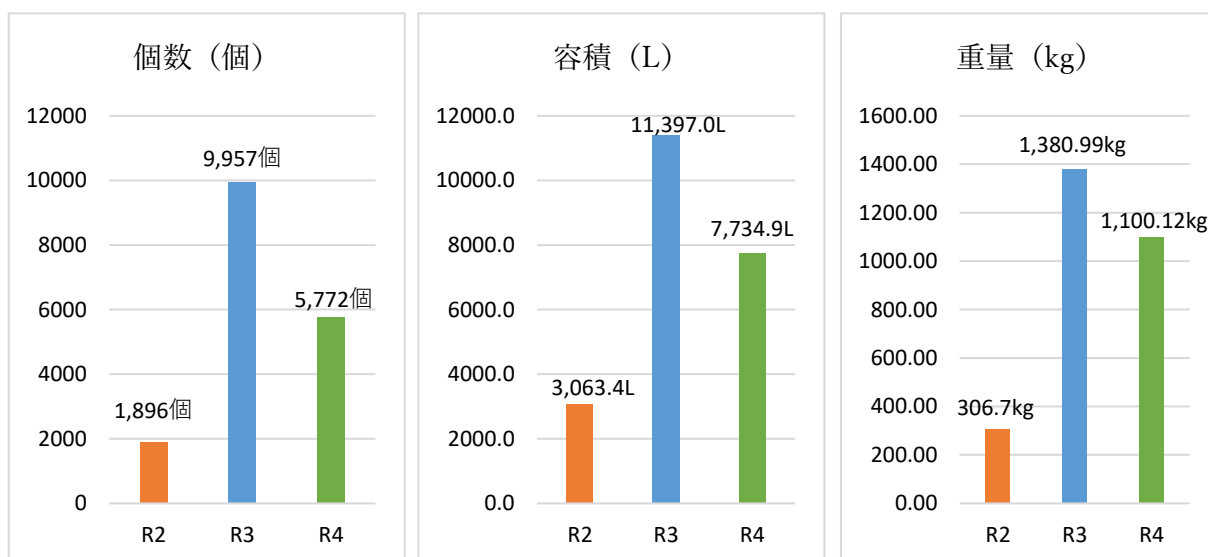


図 3.1.1 各年度の調査結果総量比較  
（左：個数、中央：容積、右：重量）

### 3.1.2 人工物別調査結果の比較

各年度の調査結果を人工物別に個数、重量、容積について比較した結果を図 3.1.2-1、図 3.1.2-2、図 3.1.2-3 に示した。3 か年全てにおいてプラスチックが 80%以上を占める結果であった。

なお、令和 4 年度の調査結果の重量、容積にて、木（木材等）の増加がみられるが、重量、容積が大きい漂着物が 1 個確認されたためである。

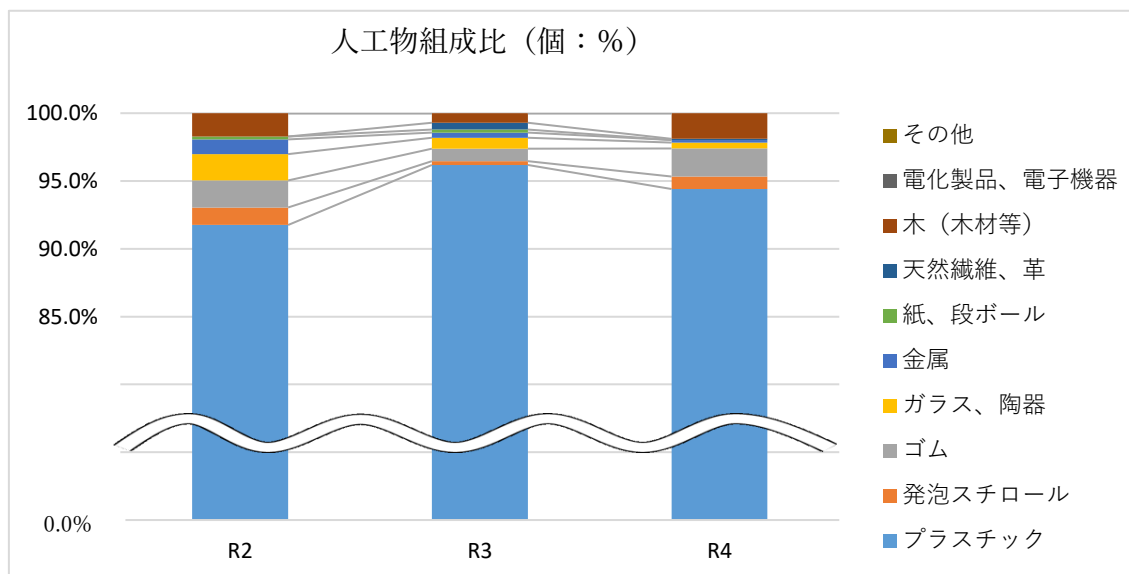


図 3.1.2-1 令和 2～4 年度人工物個数の組成比（個：％）

（プラスチック以外の組成比に着目するため、0～80%の範囲を一部省略して図化した）

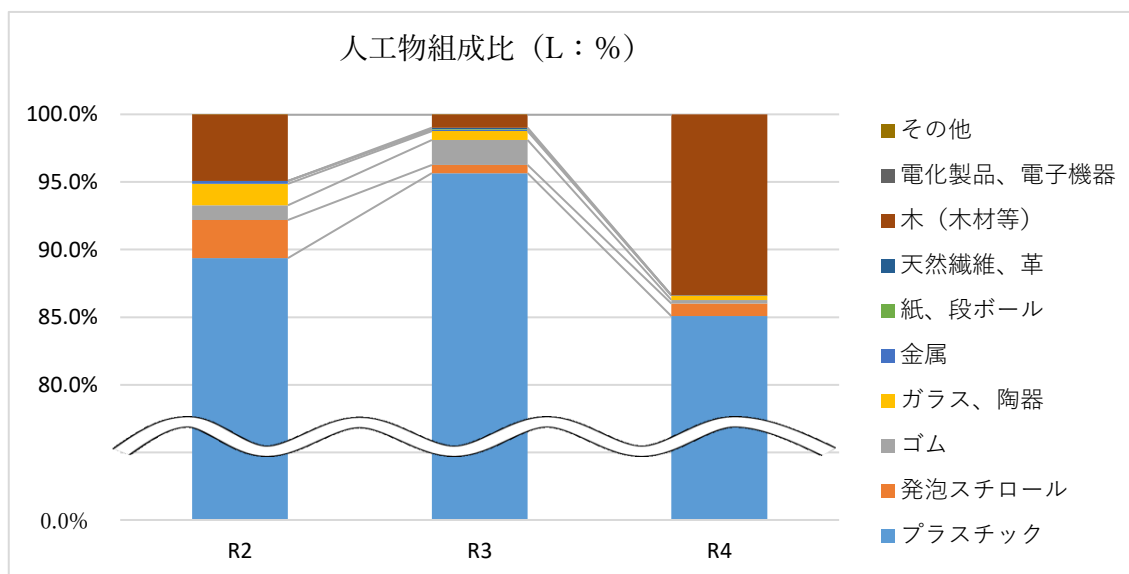


図 3.1.2-2 令和 2～4 年度人工物容積の年度別組成比（L：％）

（プラスチック以外の組成比に着目するため、0～80%の範囲を一部省略して図化した）

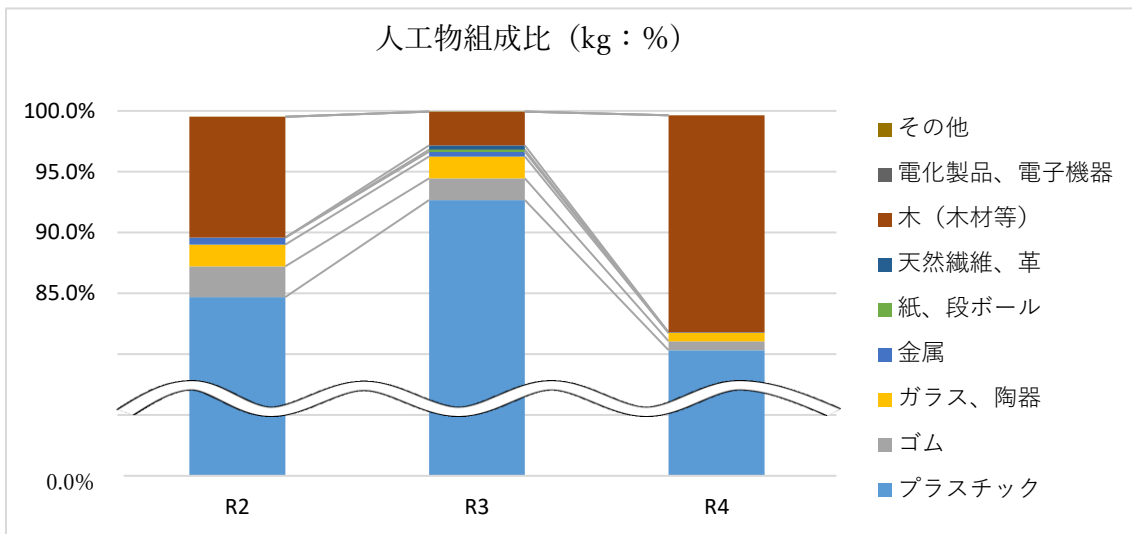
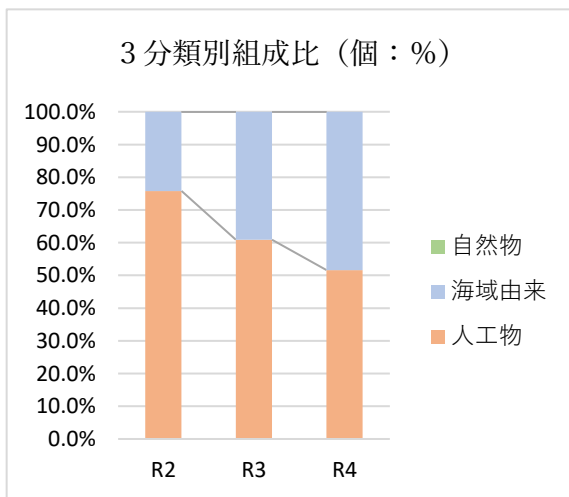


図 3.1.2-3 令和 2~4 年度人工物重量の年度別組成比 (kg : %)  
 (プラスチック以外の組成比に着目するため、0~80%の範囲を一部省略して図化した)

### 3.1.3 3分類別調査結果の比較

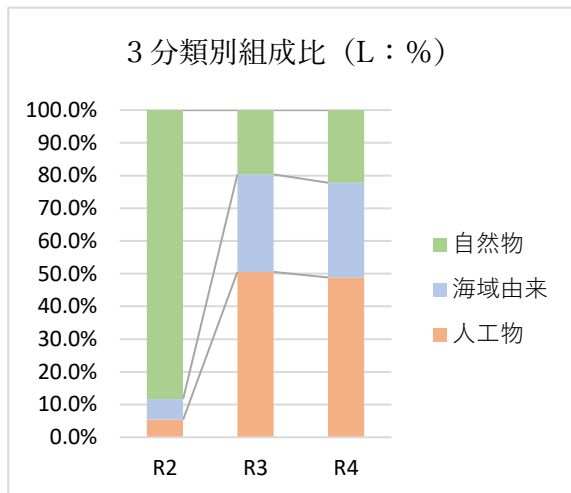
各年度の調査結果を3分類別に個数、重量、容積について比較した結果を図 3.1.3-1、図 3.1.3-2、図 3.1.3-3 に示した。容積、重量においては、令和 2 年度にて他年度に比べ自然物が多い結果であった。また、海域由来の割合について個数、重量では増加する傾向がみられたが、容積については令和 3 年度より減少する傾向が見られた。



	個数			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
人工物	304	6,059	2,978	75.8	60.9	51.6
海域由来	97	3,893	2,790	24.2	39.1	48.4
自然物						
合計	401	9,952	5,768	100.0	100.0	100.0

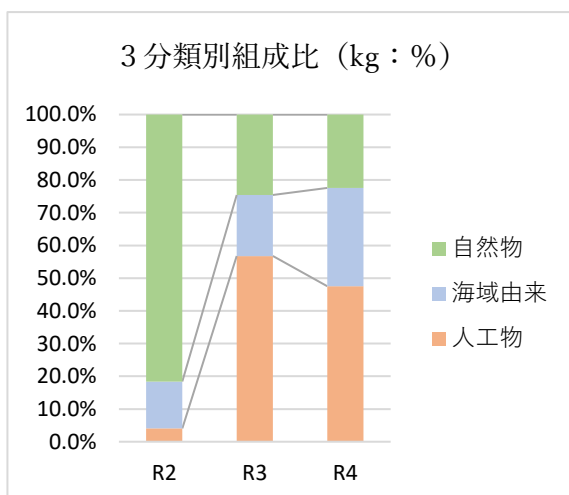
図 3.1.3-1 令和 2~4 年度 3 分類別個数組成比 (個 : %) (内訳は右図に示す)

(※自然物に含まれる灌木はカウントしないため、自然物の個数を不明とした)



	容積			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
人工物	78.5	5,760.2	3,781.0	5.4	50.5	48.9
海域由来	92.3	3,398.0	2,239.3	6.3	29.8	29.0
自然物	1,292.7	2,238.9	1,714.6	88.3	19.6	22.2
合計	1,463.4	11,397.0	7,734.9	100.0	100.0	100.0

図 3.1.3-2 令和 2~4 年度 3 分類別容量組成比 (L : %) (内訳は右図に示す)



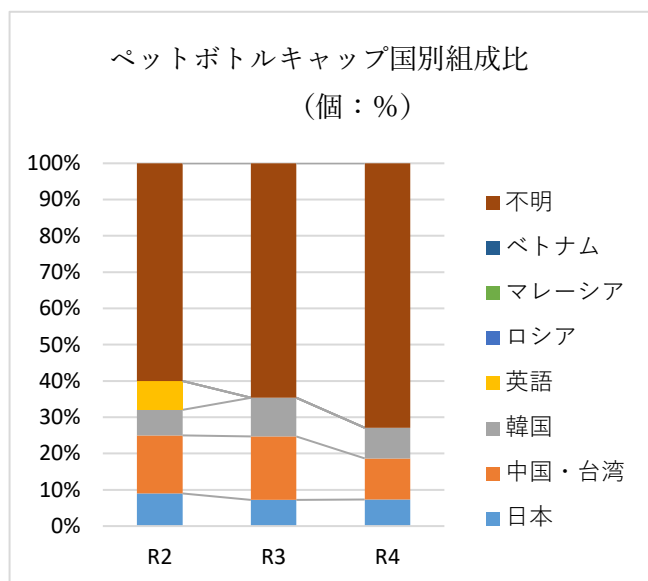
	重量			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
人工物	22.8	783.95	522.52	4.1	56.8	47.5
海域由来	80.4	257.49	330.82	14.3	18.6	30.1
自然物	457.0	339.56	246.77	81.6	24.6	22.4
合計	560.2	1,381.00	1,100.12	100.0	100.0	100.0

図 3.1.3-3 令和 2~4 年度 3 分類別容量組成比 (kg : %) (内訳は右図に示す)



### 3.1.4 ペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）国別調査結果の比較

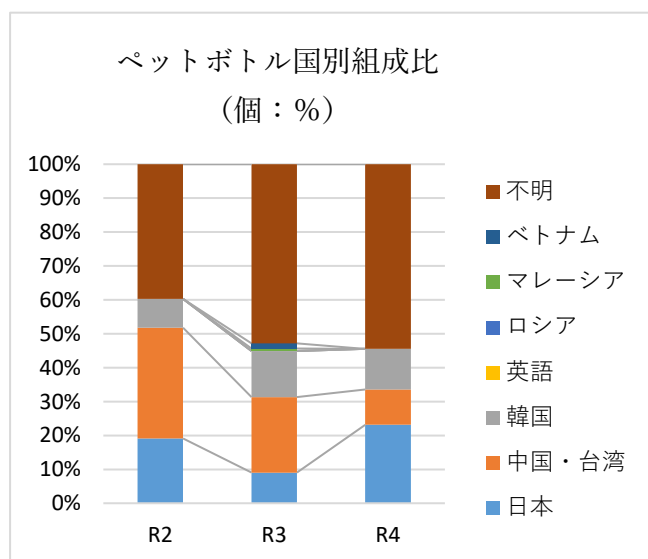
各年度の調査結果をペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）の国別に個数について比較した結果を図 3.1.4-1、図 3.1.4-2、図 3.1.4-3 に示した。ペットボトルのキャップ、ペットボトル、浮子（ブイ）ともに令和 3 年度の漂着量の多さが目立つものの、組成比については概ね同様の結果であった。



	個数			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
日本	9	76	33	9.0	7.2	7.3
中国・台湾	16	184	51	16.0	17.5	11.3
韓国	7	112	38	7.0	10.6	8.4
英語	8	0	0	8.0	0.0	0.0
ロシア	0	0	0	0.0	0.0	0.0
マレーシア	0	0	0	0.0	0.0	0.0
ベトナム	0	0	0	0.0	0.0	0.0
不明	60	680	328	60.0	64.6	72.9
総計	100	1,052	450	100.0	100.0	100.0

図 3.1.4-1 令和 2～4 年度ペットボトルキャップの国別個数組成比 (個：%)

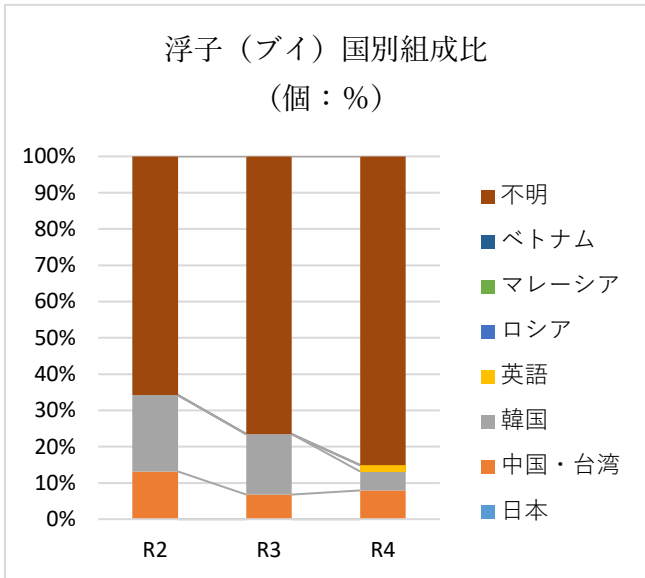
(内訳は右図に示す)



	個数			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
日本	27	48	31	19.1	9.1	23.1
中国・台湾	46	118	14	32.6	22.3	10.4
韓国	12	72	16	8.5	13.6	11.9
英語	0	0	0	0.0	0.0	0.0
ロシア	0	0	0	0.0	0.0	0.0
マレーシア	0	4	0	0.0	0.8	0.0
ベトナム	0	8	0	0.0	1.5	0.0
不明	56	280	73	39.7	52.8	54.5
総計	141	530	134	100.0	100.0	100.0

図 3.1.4-2 令和 2～4 年度ペットボトルの国別個数組成比 (個：%)

(内訳は右図に示す)



	個数			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
日本	0	0	0	0.0	0.0	0.0
中国・台湾	5	11	9	13.2	6.8	7.9
韓国	8	27	6	21.1	16.7	5.3
英語	0	0	2	0.0	0.0	1.8
ロシア	0	0	0	0.0	0.0	0.0
マレーシア	0	0	0	0.0	0.0	0.0
ベトナム	0	0	0	0.0	0.0	0.0
不明	25	124	97	65.8	76.5	85.1
総計	38	162	114	100.0	100.0	100.0

図 3.1.4-3 令和 2～4 年度浮子（ブイ）の年度別国別個数組成比（個：％）

（内訳は右図に示す）

### 3.1.5 プラ分類別調査結果の比較

各年度の調査結果のプラ分類別の個数、重量の分類について比較した結果を図 3.1.5-1、図 3.1.5-2 に示した。なお、プラ分類とは、プラスチックの用途別に分類されたもので、環境省「漂着ごみ組成調査データシート（令和 3 年 10 月 第 3 版）」漂着ごみの分類表（図 2.1.2-2）に従って分類をおこなった。令和 3 年度では、個数、重量ともに容器包装の割合が高い傾向が見られた。

令和 3 年度、令和 4 年度のプラスチック類の組成比の変化を表 3.1.5-1、表 3.1.5-2 に示した。

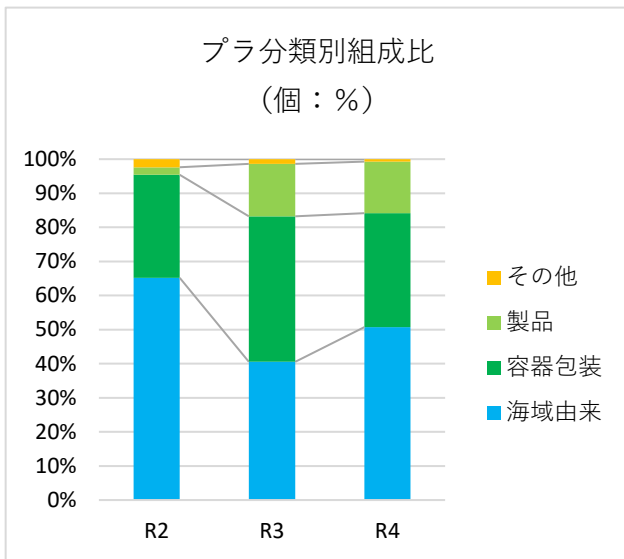
令和 4 年度のプラスチック類の個数内訳では、令和 3 年度の上位 5 種のうち 2 種（「ロープ・ひも（漁具）」、「ボトルのキャップ、ふた（プラスチック）」）が同一種類で、令和 4 年度の調査で新たに上位 5 種に入った 3 種は、「その他のプラボトル<1L」、「テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）」「かご漁具」であった。

令和 4 年度のプラスチック類の重量内訳では、上位 5 種のうち 4 種（「硬質プラスチック破片」、「ロープ・ひも（漁具）」、「浮子（ブイ）（漁具）」、「飲料用（ペットボトル）<1L」）が同一のごみの種別で、令和 4 年度の調査で新たに上位 5 種に入った 1 種は「漁網（漁具）」であった。

組成比をみると、個数内訳では「ボトルのキャップ、ふた」、「マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等」「飲料用ペットボトル<1L」などの割合が減少し、「ロープ・ひも（漁具）」、「その他プラスチック袋」「テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）」「カキ養殖用まめ管（長さ 1.5cm）」などの割合が上昇していた。

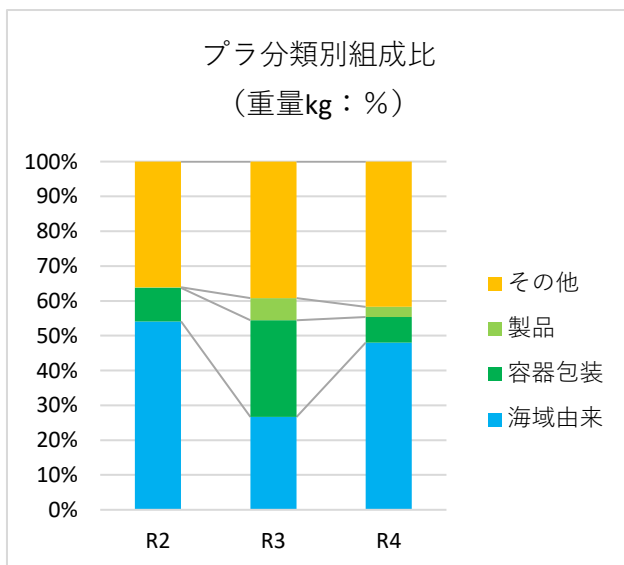
重量内訳では「その他のプラボトル<1L」、「飲料用（ペットボトル） $\geq$ 1L」「飲料用（ペットボトル）<1L」「分類に無いもの（パイプ）」「浮子（ブイ）（漁具）」などの割合が減少し、「漁網（漁具）」、「ロープ、ひも（漁具）」、「硬質プラスチック破片」などの割合が上昇していることがわかる。

個数において「マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等」、重量においては「その他のプラボトル<1L」が減少しており、令和 3 年度が突出して増加していた可能性が考えられる。ほかにも、「その他プラスチック袋」の個数、「漁網（漁具）」、「ロープ、ひも（漁具）」の重量に増加がみられた。



	個数			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
海域由来	1,126	3,893	2,790	65.2	40.6	50.7
容器包装	38	1,473	832	30.2	42.7	33.4
製品	522	4,098	1,837	2.2	15.3	15.1
その他	41	136	39	2.4	1.4	0.7
合計	1,727	9,600	5,498	100.0	100.0	100.0

図 3.1.5-1 令和 2～4 年度プラ分類別個数組成比 (個：%) (内訳は右図に示す)



	重量			%		
	R2	R3	R4	R2	R3	R4
海域由来	125.5	257.49	330.82	54.1	26.7	48.0
容器包装	0.4	61.28	20.28	9.6	27.8	7.3
製品	22.3	268.17	50.16	0.2	6.3	2.9
その他	83.7	378.80	287.26	36.1	39.2	41.7
合計	231.9	965.74	688.52	100.0	100.0	100.0

図 3.1.5-2 令和 2～4 年度プラ分類別重量組成比 (重量 kg：%) (内訳は右図に示す)

表 3.1.5-1 令和3年度・令和4年度のプラスチック類の組成比（個数）

（差分（％）の降順）

分類項目（プラスチック）	個数（個）					
	R3 （個）	R4 （個）	差分 （個）	R3 （％）	R4 （％）	差分 （％）
ロープ、ひも（漁具）	2,808	2,040	-768	29.4	37.5	8.0
その他プラスチック袋	12	166	154	0.1	3.0	2.9
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	226	265	39	2.4	4.9	2.5
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）	128	182	54	1.3	3.3	2.0
その他のプラボトル<1L	374	291	-83	3.9	5.3	1.4
かご漁具	262	215	-47	2.7	3.9	1.2
カップ、食器	39	62	23	0.4	1.1	0.7
生活雑貨（歯ブラシ等）	128	101	-27	1.3	1.9	0.5
玩具	0	23	23	0.0	0.4	0.4
浮子（ブイ）（漁具）	154	108	-46	1.6	2.0	0.4
食品の容器包装	62	47	-15	0.6	0.9	0.2
分類に無いもの（衣類）	0	10	10	0.0	0.2	0.2
分類無いもの（マスク）	4	10	6	0.0	0.2	0.1
苗木ポット	12	10	-2	0.1	0.2	0.1
釣りのルアー・浮き	28	19	-9	0.3	0.3	0.1
シリンジ、注射器	0	3	3	0.0	0.1	0.1
分類に無いもの（パイプ）	44	28	-16	0.5	0.5	0.1
たばこ吸殻（フィルター）	0	0	0	0.0	0.0	0.0
花火	0	0	0	0.0	0.0	0.0
6パックホルダー	0	0	0	0.0	0.0	0.0
釣り糸	1	0	-1	0.0	0.0	0.0
レジ袋	10	3	-7	0.1	0.1	0.0
その他の漁具（たこ壺）	14	2	-12	0.1	0.0	-0.1
ライター	120	62	-58	1.3	1.1	-0.1
漁網（漁具）	24	4	-20	0.3	0.1	-0.2
カキ養殖用パイプ（長さ10-20cm）（漁具）	32	5	-27	0.3	0.1	-0.2
プラスチック梱包材	26	0	-26	0.3	0.0	-0.3
その他のプラボトル類≧1L	99	39	-60	1.0	0.7	-0.3
ウレタン	136	39	-97	1.4	0.7	-0.7
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	434	208	-226	4.5	3.8	-0.7
飲料用（ペットボトル）≧1L	144	10	-134	1.5	0.2	-1.3
食品容器	153	10	-143	1.6	0.2	-1.4
ストロー	416	159	-257	4.4	2.9	-1.4
飲料用（ペットボトル）<1L	456	124	-332	4.8	2.3	-2.5
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	448	99	-349	4.7	1.8	-2.9
ボトルのキャップ、ふた	2,746	1,100	-1,646	28.8	20.2	-8.6
合計	9,540	5,444	-4,096	100.0	100.0	

表 3.1.5-2 令和3年度・令和4年度のプラスチック類の組成比（重量）

（差分（％）の降順）

分類項目（プラスチック）	重量（kg）					
	R3 （kg）	R4 （kg）	差分 （kg）	R3 （％）	R4 （％）	差分 （％）
漁網（漁具）	0.36	101.80	101.44	0.0	14.9	14.8
ロープ、ひも（漁具）	147.00	170.85	23.85	15.2	24.9	9.7
硬質プラスチック破片	373.50	286.50	-87.00	38.7	41.8	3.1
カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)（漁具）	0.24	7.00	6.76	0.0	1.0	1.0
その他プラスチック袋	1.20	2.63	1.43	0.1	0.4	0.3
分類に無いもの（衣類）	0.91	1.82	0.91	0.1	0.3	0.2
玩具	0.00	0.68	0.68	0.0	0.1	0.1
かご漁具	3.90	3.15	-0.75	0.4	0.5	0.1
食品の容器包装	0.50	0.65	0.15	0.1	0.1	0.0
生活雑貨（歯ブラシ等）	1.44	1.30	-0.14	0.1	0.2	0.0
釣りのルアー・浮き	0.20	0.18	-0.02	0.0	0.0	0.0
分類に無いもの（マスク）	0.02	0.05	0.03	0.0	0.0	0.0
カキ養殖用まめ管（長さ1.5cm）（漁具）	0.08	0.09	0.01	0.0	0.0	0.0
シリンジ、注射器	0.00	0.03	0.03	0.0	0.0	0.0
苗木ポット	0.04	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0
たばこ吸殻（フィルター）	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
花火	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
6パックホルダー	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0
釣り糸	0.01	0.00	-0.01	0.0	0.0	0.0
テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	2.40	1.64	-0.76	0.2	0.2	0.0
レジ袋	0.20	0.03	-0.17	0.0	0.0	0.0
プラスチック梱包材	0.20	0.00	-0.20	0.0	0.0	0.0
その他のプラボトル類≧1L	16.20	11.30	-4.90	1.7	1.6	0.0
ライター	1.36	0.65	-0.71	0.1	0.1	0.0
カップ、食器	1.80	0.75	-1.05	0.2	0.1	-0.1
マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1.52	0.26	-1.26	0.2	0.0	-0.1
シートや袋の破片	1.20	0.00	-1.20	0.1	0.0	-0.1
ストロー	3.20	0.10	-3.10	0.3	0.0	-0.3
ウレタン	3.60	0.13	-3.47	0.4	0.0	-0.4
食品容器	4.05	0.23	-3.82	0.4	0.0	-0.4
その他の漁具(たこ壺)	5.15	0.60	-4.55	0.5	0.1	-0.4
アナゴ筒（フタ、筒）（漁具）	27.01	11.05	-15.96	2.8	1.6	-1.2
ボトルのキャップ、ふた	18.03	4.52	-13.52	1.9	0.7	-1.2
浮子（ブイ）（漁具）	73.50	33.70	-39.80	7.6	4.9	-2.7
分類に無いもの(パイプ)	49.00	12.95	-36.05	5.1	1.9	-3.2
飲料用（ペットボトル）<1L	62.00	13.85	-48.15	6.4	2.0	-4.4
飲料用（ペットボトル）≧1L	54.60	4.10	-50.50	5.7	0.6	-5.1
その他のプラボトル<1L	111.17	12.78	-98.39	11.5	1.9	-9.6
合計	965.59	685.41	-280.18	100.00	100.00	

### 3.2 ヒアリング調査

水晶浜における海岸漂着物の状況の要因についての検討のため、下記の項目についてヒアリング調査をおこなった。

- ・例年と比較した今年のごみの状況
- ・漂着ごみが多く溜まり始める時期
- ・気象海象の影響
- ・清掃活動

調査は、美浜町役場住民環境課、美浜町役場観光戦略課、若狭美浜観光協会、竹波観光協会、敦賀海上保安部への電話によるヒアリングを行った。表 3.2 に聞き取りができた範囲で取りまとめた内容を記載する。なお、清掃活動についてはコロナ禍のために中止された活動もある。過年度の清掃の有無などの状況についても含めて検討するために、今回の調査に加え令和 2 年度、令和 3 年度分の調査も合わせてまとめた。

ヒアリング結果から、令和 3 年度に比べ令和 4 年度にて漂着量の減少がみられた（図 3.1.1）要因として下記の内容が関係すると推測される。

- ①気象海象の状況による漂着と再漂流の繰り返し（冬季）
- ②海水浴場開設などにもなう清掃活動の有無（夏季秋季）

①については、令和 4 年度は 3 月に何度か海の荒れる日があり、その際に漂着と再漂流を繰り返し、最終的に最もごみが多く溜まっていた時に比べ多少少ない状態になっていたとのことであった。

次に②の清掃活動については、水晶浜海岸にて令和 2 年度では、コロナ禍のため海水浴場の開設が中止され、海水浴シーズン中に清掃が行われず、夏季秋季にも漂着物があったと推測され、令和 3 年度では夏季秋季の漂着物に冬季の漂着物が追加された結果、春季に実施された調査結果にて漂着物の大幅な増加が見られたと推測される。また、令和 3 年度は海水浴場が 2 年ぶりに開設されたことにより、夏季秋季の清掃活動の機会が増えたと想定され、その結果令和 4 年度の調査結果にて、漂着量の減少が見られたと推測される。以上のことから、海水浴場の開設などに伴う清掃活動が春季の漂着物の量に影響を与えている可能性が推測される。

表 3.2 ヒアリング調査結果

ヒアリング項目	回答
<p>例年と比較した 今年のごみの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年5月に比べ今年は例年並みである。</li> <li>・プラスチック類、漁具の網の塊が多いように思う。</li> <li>・ペットボトルは少ない印象がある。ペットボトルの溜まる場所が令和3年と比べて変わっているのではないかと。</li> </ul>
<p>漂着ごみが 多く溜まり始める時期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化は特になし。例年12月頃から漂着が増え、3月中旬頃までの期間でごみが多くなる。3月頃に最もごみが多くなるが冬場は海が荒れるため回収は困難。</li> </ul>
<p>気象海象の影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水晶浜では潮の流れによってごみが溜まりやすくなってしまふのだと思う。</li> <li>・令和4年3月にごみが多く溜まった後、海が荒れる日が2~3回あり駐車場周辺まで波が被ることがあった。その時にごみが浜に溜まったり海に流れたりを繰り返し、最終的には最もごみが溜まっていた時に比べて多少少ない状態になったと思う。</li> </ul>
<p>清掃活動</p>	<p>〈令和2年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月 美浜町住民環境課による清掃の実施。</li> <li>・美浜町観光戦略課と関係団体による清掃の中止。</li> <li>・海水浴場の開設中止。地元の方々による清掃活動もあまり実施されていなかったと思われる。</li> </ul> <p>〈令和3年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月頃から地元の方々により清掃活動実施。</li> <li>・5、6月頃 美浜町役場担当課、竹波区にて清掃を実施。</li> </ul> <p>〈令和4年〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年の夏は海水浴場を開設し、海水浴のシーズン後は令和4年の4月まで清掃を行っていない。ただし地元住民の方々により時々清掃がされていた可能性はある。</li> <li>・4月以降 県外からのボランティアなどによる清掃活動、サーファーによる清掃活動などが行われていた。</li> <li>・4/17 美しい浜プロジェクト ボランティアによる清掃。</li> <li>・4/25 からの1週間で3~4日程度 美浜町による一斉清掃。</li> <li>・5/26 美浜中学校によるふるいを使ったプラスチック採集や清掃の実施。</li> </ul>



### 3.3 降水量・風速・風向の比較

調査が実施された令和2年度(2020年度)、令和3年度(2021年度)、令和4年度(2022年度)の3～5月の降水量と風速風向について気象庁の観測結果を用いて比較を行った。

過去3年間の3～5月の降水量を表3.3-1及び図3.3-1に、風速風向については表3.3-2及び図3.3-2に示した。

降水量については、令和2年度、令和4年度では、降水量が20mm以上の日数が3～4日であったのに対して、令和3年度では9日であった。そのうち、50mmを超える非常に激しい雨<sup>※1</sup>が2日(2021/4/29、2021/5/17)観測されていた。

風速については、各年度ともに大きな変化はなく、日平均風速の3か月の平均は2m/s前後で、日平均風速の3か月間での風速の最大は5～7m/sほどであり10m/sを超える強風が吹く日は見られなかった。

風向については、3か年共に大きな変化は見られなかったが、令和2年度は北風が多く、令和3年度では北風南風ともに同程度、令和4年度では南風が多く見られた。

以上のことから、令和2年度、令和3年度、令和4年度の各年度の調査結果では、ごみの量に変化が見られたが、気象の変化としては、調査の3か月前までの期間の降雨量に違いがみられたものの、風速風向についての大きな変化はみられなかった。

※1 雨、風の強さの表現については、気象庁ホームページ「予報用語」を参照した。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/yougo\\_hp/mokuji.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/yougo_hp/mokuji.html)

表 3.3-1 過去 3 年間（2020 年～2022 年）3 月～5 月における  
美浜観測所の日合計降水量

（参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

2020年 3月～5月	日合計降水量 (mm)	2021年 3月～5月	日合計降水量 (mm)	2022年 3月～5月	日合計降水量 (mm)
2020/3/1	0	2021/3/1	0	2022/3/1	4.5
2020/3/2	0	2021/3/2	39.5	2022/3/2	1.5
2020/3/3	0.5	2021/3/3	0	2022/3/3	0
2020/3/4	8.5	2021/3/4	0	2022/3/4	0
2020/3/5	14.5	2021/3/5	6	2022/3/5	1
2020/3/6	0	2021/3/6	1	2022/3/6	1
2020/3/7	1	2021/3/7	0	2022/3/7	0
2020/3/8	12.5	2021/3/8	0	2022/3/8	0
2020/3/9	0	2021/3/9	0	2022/3/9	0
2020/3/10	7	2021/3/10	0	2022/3/10	0
2020/3/11	12.5	2021/3/11	0	2022/3/11	0
2020/3/12	0.5	2021/3/12	1.5	2022/3/12	0
2020/3/13	0	2021/3/13	30	2022/3/13	0
2020/3/14	1	2021/3/14	0	2022/3/14	11.5
2020/3/15	1.5	2021/3/15	0	2022/3/15	1
2020/3/16	7	2021/3/16	2	2022/3/16	0
2020/3/17	1	2021/3/17	0	2022/3/17	0
2020/3/18	8.5	2021/3/18	0	2022/3/18	34.5
2020/3/19	0	2021/3/19	0	2022/3/19	11.5
2020/3/20	1	2021/3/20	5.5	2022/3/20	0
2020/3/21	0	2021/3/21	26	2022/3/21	0
2020/3/22	2	2021/3/22	6	2022/3/22	8
2020/3/23	0	2021/3/23	0	2022/3/23	2.5
2020/3/24	0	2021/3/24	0	2022/3/24	1.5
2020/3/25	0	2021/3/25	2.5	2022/3/25	0
2020/3/26	0	2021/3/26	0	2022/3/26	11
2020/3/27	11.5	2021/3/27	0	2022/3/27	1
2020/3/28	18	2021/3/28	19	2022/3/28	0
2020/3/29	4	2021/3/29	0	2022/3/29	0
2020/3/30	0	2021/3/30	0	2022/3/30	0
2020/3/31	0	2021/3/31	0	2022/3/31	3
2020/4/1	41.5	2021/4/1	0	2022/4/1	0
2020/4/2	6.5	2021/4/2	0	2022/4/2	0
2020/4/3	0	2021/4/3	0	2022/4/3	0
2020/4/4	0	2021/4/4	29.5	2022/4/4	0
2020/4/5	0	2021/4/5	0.5	2022/4/5	0
2020/4/6	0	2021/4/6	0	2022/4/6	0
2020/4/7	0	2021/4/7	0	2022/4/7	1
2020/4/8	0	2021/4/8	0	2022/4/8	0
2020/4/9	0	2021/4/9	0	2022/4/9	0
2020/4/10	0.5	2021/4/10	0	2022/4/10	0
2020/4/11	0	2021/4/11	0	2022/4/11	0
2020/4/12	10.5	2021/4/12	0	2022/4/12	0
2020/4/13	32	2021/4/13	5.5	2022/4/13	0
2020/4/14	1	2021/4/14	6.5	2022/4/14	12
2020/4/15	0	2021/4/15	0	2022/4/15	12
2020/4/16	0	2021/4/16	0	2022/4/16	0.5
2020/4/17	0	2021/4/17	33	2022/4/17	0
2020/4/18	20.5	2021/4/18	6.5	2022/4/18	0
2020/4/19	7	2021/4/19	0	2022/4/19	0
2020/4/20	10.5	2021/4/20	0	2022/4/20	0
2020/4/21	0.5	2021/4/21	0	2022/4/21	2.5
2020/4/22	3	2021/4/22	0	2022/4/22	0
2020/4/23	10	2021/4/23	0	2022/4/23	0
2020/4/24	10	2021/4/24	0	2022/4/24	0
2020/4/25	0	2021/4/25	0	2022/4/25	0
2020/4/26	5.5	2021/4/26	0	2022/4/26	8.5
2020/4/27	0	2021/4/27	0	2022/4/27	14.5
2020/4/28	0.5	2021/4/28	10	2022/4/28	0
2020/4/29	0	2021/4/29	54	2022/4/29	28.5
2020/4/30	0	2021/4/30	4.5	2022/4/30	0
2020/5/1	0	2021/5/1	12.5	2022/5/1	19
2020/5/2	0	2021/5/2	11	2022/5/2	0.5
2020/5/3	0	2021/5/3	0.5	2022/5/3	0.5
2020/5/4	3	2021/5/4	0	2022/5/4	0
2020/5/5	4	2021/5/5	24	2022/5/5	0
2020/5/6	4.5	2021/5/6	0	2022/5/6	0
2020/5/7	0	2021/5/7	0	2022/5/7	0
2020/5/8	0	2021/5/8	0	2022/5/8	0
2020/5/9	10	2021/5/9	3.5	2022/5/9	0
2020/5/10	7.5	2021/5/10	0.5	2022/5/10	0
2020/5/11	1.5	2021/5/11	2.5	2022/5/11	0
2020/5/12	0	2021/5/12	0	2022/5/12	0.5
2020/5/13	0	2021/5/13	0	2022/5/13	14.5
2020/5/14	0	2021/5/14	0	2022/5/14	30.5
2020/5/15	1	2021/5/15	0	2022/5/15	0
2020/5/16	41.5	2021/5/16	7.5	2022/5/16	0
2020/5/17	1	2021/5/17	62	2022/5/17	0
2020/5/18	10	2021/5/18	1.5	2022/5/18	0
2020/5/19	1	2021/5/19	1	2022/5/19	0
2020/5/20	0	2021/5/20	15.5	2022/5/20	0
2020/5/21	1	2021/5/21	35.5	2022/5/21	0.5
2020/5/22	0	2021/5/22	0	2022/5/22	2
2020/5/23	0	2021/5/23	0	2022/5/23	0
2020/5/24	0	2021/5/24	6	2022/5/24	0
2020/5/25	8.5	2021/5/25	1.5	2022/5/25	0
2020/5/26	17	2021/5/26	0	2022/5/26	7.5
2020/5/27	0	2021/5/27	18.5	2022/5/27	9
2020/5/28	0	2021/5/28	0	2022/5/28	0
2020/5/29	0	2021/5/29	0	2022/5/29	0
2020/5/30	0	2021/5/30	0	2022/5/30	0
2020/5/31	0	2021/5/31	0	2022/5/31	5.5

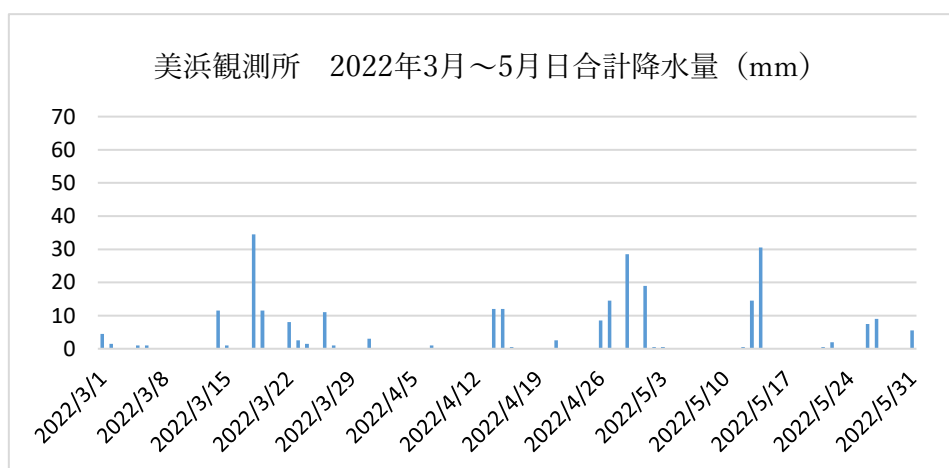
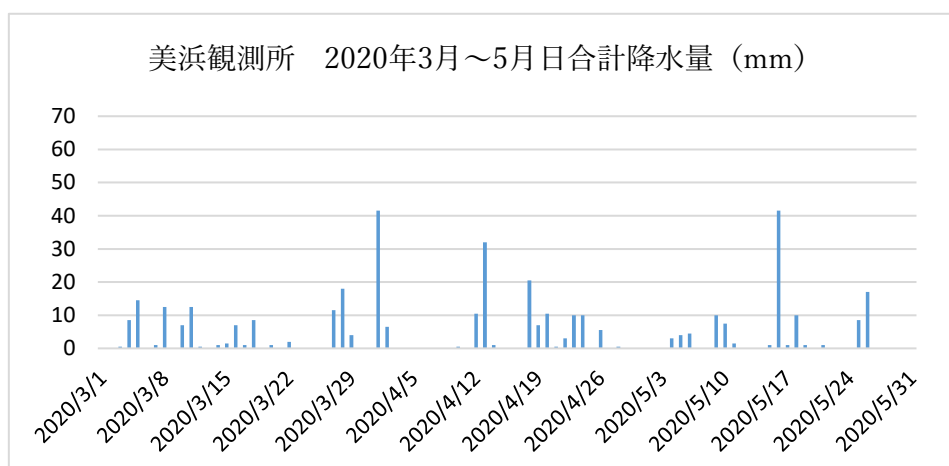


図 3.3-1 過去3年間（2020年～2022年）3月～5月における  
美浜観測所の日合計降水量

（参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）



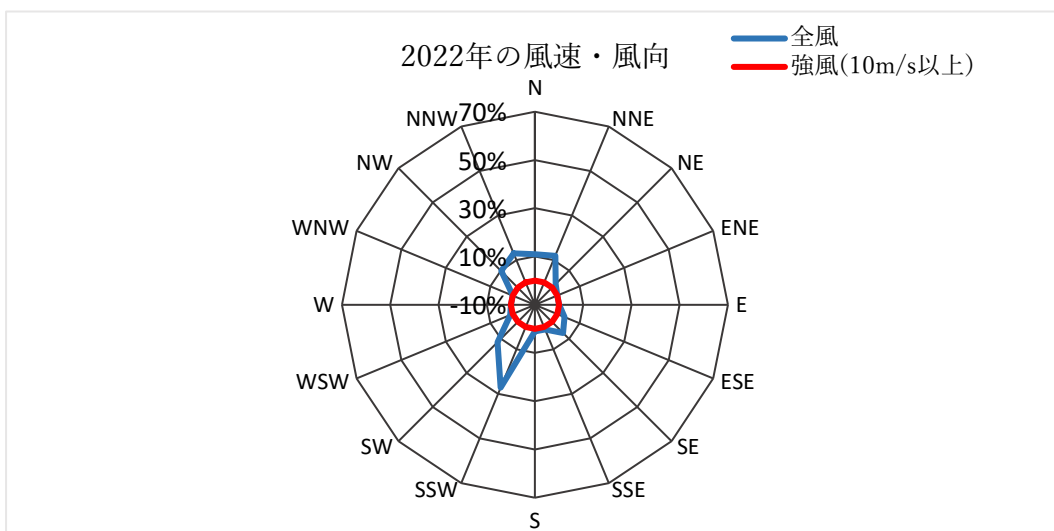
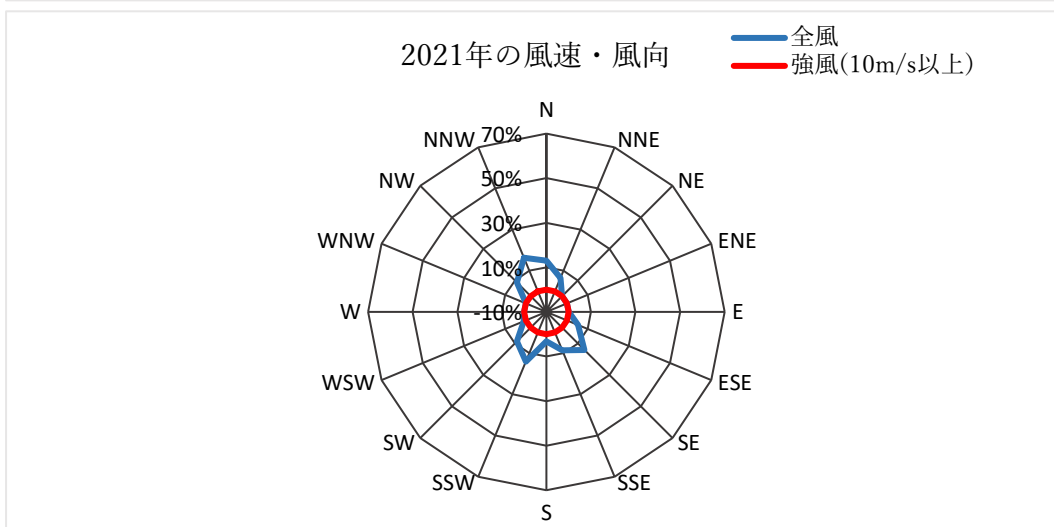
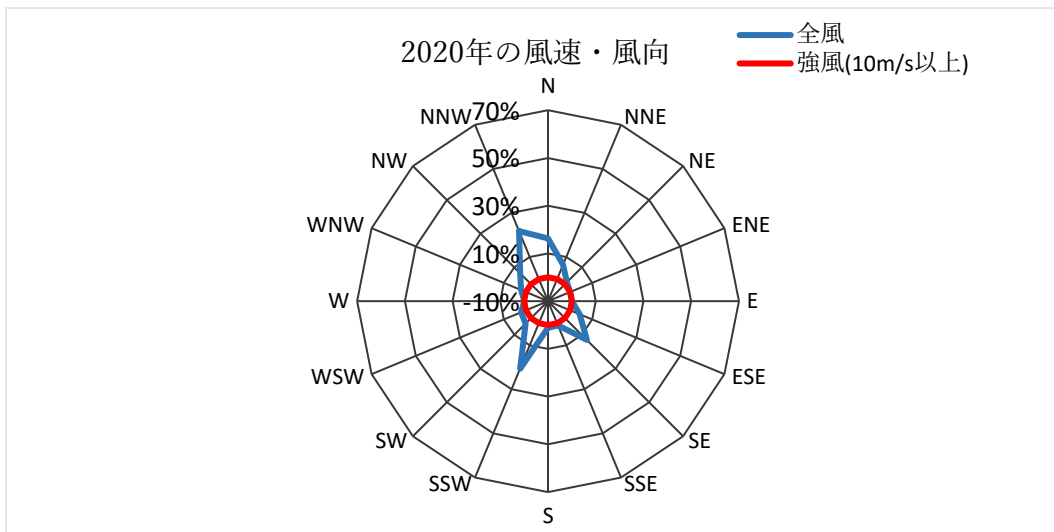


図 3.3-2 過去3年間（2019年～2021年）3月～5月における  
美浜観測所の日平均風速と日最多風向による風配図

（参照：気象庁 HP 「過去の気象データ」 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>）

### 3.4 まとめ

令和2年度から令和4年度の3か年を通して見ると組成比は概ね同様であったが、令和3年度と令和4年度の漂着物の量では個数・容積・重量において約0.6~0.8倍の変化がみられ、一方で令和2年度と令和4年度の漂着物の量では個数において約3倍、容積が約2.5倍、重量で約3.6倍もの差がみられた（表3.1.1-1、表3.1.1-2、表3.1.1-3、図3.1.1）。内訳をみると、個数では、令和2年が1,896個、令和3年が9,957個、そして令和4年が5,772個、重量については、令和2年が306.7kg、令和3年が1,381.1kg、令和4年が1,100.1kgとばらつきがみられた。

これら各年度間のごみ量のばらつきの要因については、過去3か年における3~5月の水晶浜海岸の気象状況を確認したところ、降雨量での差はみられたが、風速風向についての大きな変化は見られなかった。また、ヒアリング調査の結果についても夏季秋季の清掃頻度が影響を与えている可能性が推測されたのみである。

以上の結果から、個数・重量共に各年度間にて調査結果の数値に幅がある要因については現時点においては不明であるが、今後の継続的調査により水晶浜海水浴場における漂着物の傾向がより明らかとなることで、実態の把握が可能になるものと思われる。